

第101回 定期総会

令和7年5月18日(日)



琉球古典音楽 野村流音楽協会

協会本部：〒904-2151 沖縄市松本 5-16-3

携帯電話 090-9788-7404

TEL・FAX (098)937-3015

事務局：〒904-0417 恩納村真栄田 18

携帯電話 090-1942-5829

EMAIL mamajun777@outlook.jp

協会 WEB

<http://nok-okinawa.jp>

協会 EMAIL

info@nok-okinawa.jp



第101回 定期 総 会

令和7年5月18日(日) 午後1時

ちやたんニライセンター「カナイホール」

司 会: 古屋順子 事務局長

会 順

◇御前風斉唱 (かぎやで風節・恩納節・ごえん節・中城はんた前節・こてい節)

【1】総 会

1. 開会のことば.....銘 苅 盛 隆 副 会 長
2. 会長あいさつ.....糸 数 昌 治 会 長
3. 免許状授与.....糸 数 昌 治 会 長
4. 免許取得者代表あいさつ.....新 垣 達 也
5. 激励のことば.....糸 数 昌 治 会 長
6. 来賓祝辞.....普久原 均 琉球新報社代表取締役社長
仲宗根 巴津美 琉球箏曲興陽会会長
7. 審 議 (議長は会長、会則第12条第2項).....糸 数 昌 治 会 長
 - (1) 令和6年度事業並びに会務報告.....仲 田 知 広 書 記
 - (2) 令和6年度決算報告.....比 嘉 い つ み 会 計
 - (3) 会計監査報告兼島兼良 監査委員
 - (4) 令和7年度事業並びに会務計画(案).....仲 田 知 広 書 記
 - (5) 令和7年度予算(案).....比 嘉 い つ み 会 計
 - (6) 規程の一部改正.....古屋順子事務局長

8. 表 彰糸 数 昌 治 会 長

◎感謝状

◇審査員 徳原清文氏 玉城巖氏 玉城秀木氏 宇栄原宗真氏
沼崎裕二氏 宗岡高氏 下地健士氏 新保貴子氏
加藤修司氏 金城茂氏 新城浩文氏

9. ㊦沖縄県指定無形文化財沖縄伝統音楽野村流保持者認定者の先生方へ花束贈呈

◇宮城勝秀氏 吉元博昌氏 徳原清文氏 内間悦子氏 島袋功氏 糸数昌治氏

10. 閉会のことば.....島 袋 功 副 会 長

【2】演 奏 節 組

- 1. 齊 唱 揚作田節 東里節 赤田花風節(松竹梅)
- 2. 独 唱

新 教 師	散 山 節	歌・三線	大 嶺 友 里 奈	箏	神 里 利 枝
新 師 範	述 懷 節	歌・三線	大 城 み ゆ き	箏	前 田 さ や か

- 3. 齊 唱 立雲節

目 次

1. 令和 6 年度事業並びに会務報告	1～17
2. 令和 6 年度決算報告書	
(1) 一般会計収支決算書	18
(2) 協力事業等明細書	19～21
(3) 創立 100 周年記念事業決算書	22～23
(4) 第 18 回琉楽奨励賞決算書	24
(5) 創立 100 周年記念事業若衆公演決算書	25
(6) 工工四販売事業収支決算書	26
(7) 財産目録	27
3. 事業並びに会務会計監査報告書	28
4. 令和 7 年度事業並びに会務計画(案)	29～31
5. 令和 7 年度予算(案)	
(1) 一般会計予算(案)	32
(2) 第 19 回琉楽奨励賞予算(案)	33
(3) 第 39 回組研・舞研合同発表会予算(案)	34
(2) 工工四販売事業予算(案)	35
(3) 創立 100 周年記念事業予算(案)	36
6. 一部改正について	37
7. 支部別会員数	38
8. 本部会員及び事務局員・理事及び監事・支部役員・各種委員会	39～49
9. 琉球古典音楽野村流音楽協会々則(第 1 章～第 9 章)	50～53
10. 慶弔規程	54
11. 「琉球古典音楽野村流音楽協会・師範会」並びに「琉球古典音楽 野村流音楽協会・教師研修会」規程	55
12. 免許審査規程	56～58
13. 琉球古典音楽野村流音楽協会組踊及び舞踊地謡研修部規程	59～60
14. 旅費に関する規程	61
15. 表彰に関する規程	62
16. 工工四監修・編集・校正等に関する要綱	63
17. 資料収集編集委員会設置要綱	64
18. 令和 6 年度 組踊地謡研修部・舞踊地謡研修部修了者	65
19. 令和 6 年度 教師・師範免許合格者	66
20. 令和 6 年度第 18 回琉楽奨励賞合格者	67～71
21. コンクール受賞者	72～73
22. 令和 6 年度 第 9 回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」参加児童生徒名簿	74～75
23. 歴代会長一覧	76
24. 入部申請書	77

令和6年度事業並びに会務報告

自 令和6年4月01日

至 令和7年3月31日

令和6年度は会員各位のご理解とご協力により、創立100周年記念事業をはじめ各事業を滞りなく実施することができました。深く感謝申し上げますとともに、以下のとおり報告いたします。

月	日	曜	時間	事 項
4	6	土	10:00	◎第1回執行部会 場所：読谷村総合福祉センター 議題 1. 創立100周年記念事業 第1回、第2回実行委員会について 2. 創立100周年記念式典の日程について 3. 創立100周年記念公演の日程について 4. 第100回定期総会についてについて 5. 会計監査に向けた会計資料の確認について 6. 会計監査について 7. 波之上顕彰碑参拝と奉納演奏について 8. 舞踊地謡研修部 令和6年度部員募集について 9. 組踊地謡研修部 令和6年度部員募集について 10. 組踊、舞踊地謡研修部の開催方法、時間、会場等について 11. ハワイ大火災災害義援金について 12. 旧役員から新役員への引き継ぎについて 13. 沖縄芸能連盟50周年記念誌の販売割当について 14. 沖縄市泡瀬 協会倉庫の資料について 15. その他
	7	日	09:00	◎組踊地謡研修部月例研修会、総会 場所:読谷村総合福祉センター 指導者：糸数 昌治 節組：斉唱「かぎやで風節」組踊「孝行の巻」
	13	土	10:00	◎令和5年度会計監査 場所：ちゃたんニライセンター 監事 久場 良昌 兼島 兼良 新垣 和則
			13:00	◎教師研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：宮城 勝秀 節組：つなぎ節、坂本節、仲村渠節、十七八節、本花風節、百名節、白鳥節、世榮節、垣花節、本赤田花風節
	20	土	10:00	◎幹事会 場所：沖縄市農民研修センター 議題 1. 創立100周年記念事業 第1回、第2回実行委員会について 2. 創立100周年記念式典の日程について 3. 創立100周年記念公演の日程について 4. 第100回定期総会についてについて 5. 会計監査に向けた会計資料の確認について 6. 会計監査について

月	日	曜	時間	事 項
4	20	土	10：00	7. 波之上顕彰碑参拝と奉納演奏について 8. 舞踊地謡研修部 令和6年度部員募集について 9. 組踊地謡研修部 令和6年度部員募集について 10. 組踊、舞踊地謡研修部の開催方法、時間、会場等について 11. ハワイ大火災災害義援金について 12. 旧役員から新役員への引き継ぎについて 13. 沖縄芸能連盟 50 周年記念誌の販売割当について 14. 沖縄市泡瀬 協会倉庫の資料について 15. その他
			14：00	◎組研・舞研地謡研修部合同修了式 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく
	21	日	13：30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市農民研修センター 指導者：銘苅 盛隆 節組：「総掛之踊」「揚作田之踊」「前之浜之踊」「汀間とう」「加那 ヨ一天川」
5	4	土	10：00	◎相談役・理事会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく 議題 1. 創立 100 周年記念事業 第 1 回、第 2 回実行委員会について 2. 創立 100 周年記念式典の日程について 3. 創立 100 周年記念公演の日程について 4. 第 100 回定期総会についてについて 5. 会計監査に向けた会計資料の確認について 6. 会計監査について 7. 波之上顕彰碑参拝と奉納演奏について 8. 舞踊地謡研修部 令和 6 年度部員募集について 9. 組踊地謡研修部 令和 6 年度部員募集について 10. 組踊、舞踊地謡研修部の開催方法、時間、会場等について 11. ハワイ大火災災害義援金について 12. 旧役員から新役員への引き継ぎについて 13. 沖縄芸能連盟 50 周年記念誌の販売割当について 14. 沖縄市泡瀬 協会倉庫の資料について 15. その他
				◎第 2 回執行部会 場所：ちやたんニライセンター 2 階セミナー室 議題：1. 第 100 回定期総会について 2. 総会前日・波之上顕彰碑参拝と奉納演奏 3. 舞踊地謡研修部・組踊研修部、開催の在り方、時間、 会場等について 4. 旧役員より新役員への引継ぎについて

月	日	曜	時間	事 項
5	4	土	10 : 00	5. その他 ＊報告及び連絡事項
	5	日	9 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：上間 克美 節組：斉唱「かぎやで風節」組踊「二童敵討」
	10	金	13 : 30	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：沖縄市農民研修センター
	11	土	10:00	◎創立 100 周年記念事業 記念式典委員会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく
	18	土	11 : 00	◎野村流始祖先師顕彰碑参拝・那覇支部による清掃 場所：波の上（旭ヶ丘公園内）
	19	日	13 : 00	◎第 100 回定期総会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく ◇御前風斉唱 (かぎやで風節、恩納節、ごえん節、中城はんた前節、こてい節) 【1】総会 1. 開会のことば 銘苅 盛隆 副会長 2. 会長あいさつ 宮城 勝秀 会長 3. 免許状授与 宮城勝秀会長、糸数昌治副会長、銘苅盛隆副会長 4. 免許取得者あいさつ 仲嶺 清 5. 激励のことば 宮城 勝秀 会長 6. 来賓祝辞 . . . 普久原 均 琉球新報社代表取締役社長 安慶名 久美子 琉球箏曲興陽会会長 7. 審議 (議長は宮城会長：会則第 12 条第 2 項) (1) 令和 5 年度事業並びに会務報告 . . . 渡口 裕 書記 (2) 令和 5 年度決算報告 古屋 順子 会計 (3) 会計監査報告 兼島兼良監査委員 (4) 令和 6 年度事業並びに会務計画 (案) . 仲田 知広 書記 (5) 令和 6 年度予算 (案) 比嘉 いつみ 会計 8. 表彰 ◎若衆三線大使 知念清太(県知事賞)、大城昇馬(琉球新報賞)、永野鈴維寧(若衆大賞) ◎感謝状：師範審査員 金城光信、知念久光 ◎感謝状：離任 宮城勝秀、宮城秀基、渡口裕 9. 会長離任あいさつ 宮城 勝秀 前会長 10. 会長就任あいさつ 糸数 昌治 新会長 11. 閉会のことば 島袋 功 新副会長 【2】演奏会節組

月	日	曜	時間	事 項							
5	19	日		1. 斉唱 揚作田節、東里節、赤田花風節（松竹梅） 2. 独唱							
			第9回 沖縄伝統芸能 若衆芸術祭		若衆大賞		かぎやで風節		永野 鈴維寧		
					琉球新報賞		恩納節		大城 昇馬		
					県知事賞		かぎやで風節		知念 清太		
			新教師		散山節		歌・三線		喜友名 朝樹		箏
新師範		仲間節		歌・三線		島袋 順一		箏		眞榮 田徹也	
				3. 斉唱 立雲節							
			16：00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌委員会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく							
25	土	11：00	◎伝統音楽野村流保存会運営委員会 場所：西原町中央公民館								
		14：00	◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 節組：かぎやで風節、長伊平屋節、伊江節一鎖、垣花節、揚沈仁屋久節、茶屋節、すき節、通水節、東江節								
26	日	13：30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：北谷町商工会ホール 指導者：島袋 功 節組：「稲まづん節之踊」「獅子舞」「本貫花之踊」「鳩間節」「四つ竹」「谷茶前」「黒島口説」								
29	水	13：00	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：A&W								
6	1	土	10：00	◎第3回執行部会 場所：ちゃたんニライセンター 議題 1. 創立 100 周年記念事業について 2. 創立 100 周年記念公演日程について 3. 第 59 回こども舞踊大会について 4. 工工四 上巻・中巻の増刷について 5. 世界の兄弟へ三線を送るプロジェクトについて 6. 令和 6 年度文化功労者表彰候補者について 7. 沖縄市泡瀬 協会倉庫の資料について 8. 沖縄市民会館の借用 共催手続きについて 9. マスコミ挨拶（新執行部）について 10. その他							

月	日	曜	時間	事 項
6	2	日	10 : 00	◎伝統音楽野村流保存会総会 場所：西原町社会福祉センター
			13 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 節組：かぎやで風節 組踊：手水の縁
	12	水	13 : 00	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：A&W
	13	水	13 : 00	◎沖縄連総会 場所：浦添市社会福祉センター
	15	土	10 : 00	◎幹事会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく 議題 1. 第 5 9 回こども舞踊大会について 2. 工工四上巻、中巻の増刷について 3. 創立 100 周年記念事業 広告・チケットについて 4. 世界の兄弟に三線を送るプロジェクトについて 5. その他
	16	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：宮城 武碩 節組：「諸鈍節之踊」「江佐節」「女こてい節」「花風之踊」「松竹梅之踊」「加那ヨ一天川」
	20	木	13 : 30	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：沖縄市農民研修センター
	22	土	10 : 00	◎第 4 回執行部会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく 議題 1. 琉楽奨励賞について 2. 第 59 回こども舞踊大会について 3. その他
7	2	火	15 : 00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌小委員会 場所：A&W 北谷店
			11 : 00	◎野村流合同協議会 波の上顕彰碑参拝
			14 : 00	◎琉球古典芸能コンクール審査委員会議 場所：琉球新報ホール

月	日	曜	時間	事 項
7	6	土	11 : 00	◎創立 100 周年記念事業第 2 回実行委員会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく
			13 : 30	◎県指定文化財沖縄伝統音楽野村流保存会 伝承者研修会 場所：西原町社会福祉センター大広間
	7	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：上間 克美 節組：稲まづん節之踊 組踊：二童敵討、雪払い
			13 : 00	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：沖縄市農民研修センター
	8	月	10:00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌委員会（事務局会議） 場所：島袋功研究所
	13	土	11 : 00	◎沖縄芸能連盟 理事会 場所：琉球新報社
	14	日	13 : 00	◎教師研修会 場所：ちやたんニライセンター 指導者：宮城 勝秀 節組：つなぎ節、金武節、ちるれん節、十七八節、本花風節、 古見之浦節、屋慶名節、子守節、ヨラテク節、瓦屋節之踊
	20	土	10 : 00	◎第 18 回琉楽奨励賞実技審査 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく ＜審査員＞ 浜川智昭（那覇）、比嘉シゲ子（浦添）、玉城巖（宜野湾）、 金城光信（コザ）、仲間稔（具志川） ※(欠)比嘉秀季（嘉手納） 銅 賞：51名、 銀 賞：30名 金 賞： 6名、 会長賞： 8名 選考会： 1名
	21	日	10 : 00	◎第 18 回琉楽奨励賞実技審査 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく ＜審査員＞ 漢那恵秀（読谷）、比嘉紀子（石川）、仲宗根朝儀（名護）、 上間巽（本部）、与那嶺直樹（今帰仁） 銅 賞：19名、銀 賞：17名 金 賞：35名、会長賞：22名（うち胡弓3名） 選考会： 3名

月	日	曜	時間	事 項
7	21	日	13：30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：北谷町商工会ホール 指導者：銘苅 盛隆 節組：「柳節之踊」「むんじゅる」「芋引之踊」「浜千鳥節之踊」「あやぐ」「黒島口説」
	23	火	10：00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌小委員会 場所：A&W 北谷店
	25	木	13：00	◎沖縄芸能連盟第 58 回定期総会 場所：琉球新報ホール 沖縄芸能連盟功労賞 小渡良盛（コザ支部） 吉元博昌（名護支部） 松川 亨（浦添支部） 真栄喜清次（石川支部）
	26	土	13：00	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：沖縄市農民研修センター
	31	水	10：00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌委員会（事務局会議） 場所：A&W 北谷店
8	3	土	10：00	◎第 5 回執行部会 場所：ちやたんニライセンター 議題 1. 創立 100 周年事業について 2. 令和 6 年度おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」日程について 3. 創立 100 周年記念「若衆公演」～翔べ未来へ！！～について 4. 工工四 中巻増刷について 5. 教師研修会の幹事後任について 6. 創立 100 周年記念事業 各委員会からの報告について 7. その他
	4	日	09：00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：島袋 英治 節組：天川節之踊 組踊：花売之縁
	6	火	10：00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌委員会（事務局会議） 場所：仲村渠達也研究所
	10	土	10：00	◎幹事会 場所：沖縄市農民研修センター 議題 1. 創立 100 周年記念事業について 2. 工工四中巻増刷について

月	日	曜	時間	事 項
8	10	土		3. 創立 100 周年記念事業 各委員会からの報告について 4. 照喜名朝一氏銅像建立について 5. その他
	21	水	15 : 00	◎100 周年事業式典におけるライブ配信打合せ 場所：マック登川店 参加者：事務局長、ライブ配信チーム
	23	金	10 : 00	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく
	24	土	13 : 00	◎臨時理事相談役会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 議題 1. 工工四中巻増刷について 2. 照喜名朝一氏銅像建立について 3. 各委員会の報告 4. 情報収集委員会より申し送り「特別賞」の創設について
			13 : 30	◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 節組：かぎやで風節、長伊平屋節、十七八節、本花風節、 本調子仲風節、本調子述懐節、揚七尺節、百名節、立雲節
	25	日	14 : 00	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：宮城 武碩 節組：「天川節之踊」「上り口説」「下り口説」「しょんだふ節 之踊」「取納奉行」「本嘉手久節之踊」「加那ヨ一天川」
9	1	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：島袋 功 節組：かぎやで風節 組踊：孝行之巻、独唱会
	7	土	09 : 00	◎第 6 回執行部会 場所：ちやたんニライセンター 議題 1. 舞研自主公演「となか」について 3 月 8 日公演 2. 「となか」自主公演立方について 3. 若衆公演について 4. その他
	8	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：銘苅 盛隆

月	日	曜	時間	事 項
9	8	日		節組：稲まづん節、獅子舞、本貫花、鳩間節、四つ竹、谷茶前、黒島口説
	16	月 祝	10：00	◎県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」指定 50 周年記念式典 場所：国立劇場おきなわ 大劇場
			14：00	◎県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」指定 50 周年記念公演 場所：国立劇場おきなわ 大劇場 出演：保持者及び伝承者
	20	金	13：00	◎創立 100 周年記念事業 公演委員会 場所：沖縄市農民研修センター
	21	土	10：00	◎野村流合同協議会定期総会 場所：北谷町商工会議所
	23 祝	月	10：00	◎琉球古典音楽野村流音楽協会創立 100 周年記念 プレ公演 「若衆公演」～翔べ未来へ！！～ リハーサル 場所：うるま市民劇場 響ホール
			13：00	◎第 18 回琉楽奨励賞入賞者表彰式 場所：うるま市民芸術劇場 證ホール 式順 1. 開会のことば 2. 主催者あいさつ 3. 表彰 ＜歌三線の部＞ 銅賞 70 名、銀賞 47 名、金賞 41 名、会長賞 27 名 ＜胡弓の部＞ 会長賞 3 名 4. 受賞者代表あいさつ 5. 来賓祝辞 普久原均 琉球新報社代表取締役社長 6. 閉式のことば
			14：00	◎創立 100 周年記念公演 中部公演 リハーサル 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園
	24	火	10：00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌小委員会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園
	28	土	13：00	◎琉球古典音楽野村流音楽協会創立 100 周年記念 プレ公演 「若衆公演」～翔べ未来へ！！～ 場所：うるま市民劇場 響ホール 出演：＜地謡＞琉楽奨励賞在籍児童生徒及び卒業生の会員 プログラム 1. 舞踊 かぎやで風・恩納節

月	日	曜	時間	事 項
9	28	土		2. 斉唱 渡りゾウ・安波節・秋の踊り 3. 組踊 執心鐘入 4. 舞踊 上り口説 5. 舞踊 下り口説 6. 舞踊 稲まづん 7. 舞踊 貫花 8. 舞踊 花笠 9. 舞踊 四つ竹 10. 独唱 恩納節 宇根 美羽 (第18回琉楽奨励賞・金賞) かぎやで風節 大城 栄舞 (第18回琉楽奨励賞・会長賞) 11. 独唱 (三線大使) かぎやで風節 永野鈴維寧 (第8回「若衆芸術祭」若衆大賞) かぎやで風節 大城 昇馬 (第8回「若衆芸術祭」琉球新報賞) 干瀬節 知念 清太 (第8回「若衆芸術祭」県知事賞) 12. 舞踊 総掛 13. 舞踊 ゼイ 14. 舞踊 鳩間節 15. 舞踊 谷茶前 16. 舞踊 浜千鳥 17. 舞踊 秋の踊り 18. 舞踊 かたみ節 19. 舞踊 松竹梅鶴亀
	29	火	10:00	◎創立100周年記念事業 記念式典委員会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく
10	5	土	09:15	◎第7回執行部会 場所：ちゃたんニライセンター 議題 1. 琉球新報社 琉球古典芸能祭地謡について 2. 首里城祭 三線隊地謡について 3. 令和6年度 教師・師範免許試験について 4. その他 教師研修会幹事後任について
			10:00	◎幹事会 場所：ちゃたんニライセンター 議題 1. 琉球新報社 琉球古典芸能祭地謡について 2. 首里城祭 三線隊地謡について 3. 令和6年度 教師・師範免許試験について 4. その他 教師研修会幹事後任について
	6	日	09:15	◎組踊地謡研修部月例研修会「組踊ゆかりの地巡り」 場所：中城公園、御茶屋御殿、識名園、野村安趙墓 指導者：上間 克美

月	日	曜	時間	事 項
10	13	日	13 : 00	◎教師研修会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく 指導者：宮城 勝秀 節組：本田名節、眞福地之はいちやう節、揚高禰久節、昔蝶節、あがさ節、池ンタウ節、打豆節、與那節、中作田節、高禰久節
	14 祝	月	14 : 00	◎創立 100 周年記念公演 中部公演 リハーサル 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園
			17 : 00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌小委員会 場所：KFC 登川店
			18 : 00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌委員会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園
	17	木	13 : 00	◎100 周年事業式典におけるライブ配信打合せ 場所：マック石川店 参加者：事務局長、ライブ配信チーム
	19	土	10 : 00	◎野村流合同協議会会議 場所：国立劇場おきなわ
	20	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：宮城 武碩 節組：瓦屋節之踊、揚作田節、総掛、前之浜、汀間当、加那ヨ一天川
			14 : 00	◎創立 100 周年記念公演 中部公演 リハーサル 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園
	23	水	16 : 00	◎100 周年事業式典におけるライブ配信打合せ 場所：マック登川店 参加者：事務局長、MC, ライブ配信チーム
	27	日	14 : 00	◎創立 100 周年記念公演 中部公演 リハーサル 場所：北谷町商工会議所ホール
			18 : 00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌委員会（事務局会議） 場所：A&W 北谷店
	29	火	18 : 00	◎100 周年事業式典におけるライブ配信打合せ 場所：那覇の宿泊先 参加者：ハワイ支部長金城ノーマン、ライブ配信 金城光信、事務局長古屋順子

月	日	曜	時間	事 項
11	1	金	18 : 00	◎琉球新報社にて、ハワイマウイ島義援金贈呈式 (金城ノーマン・仲兼久キース) 参加者：会長・副会長・事務局長
	3	日	11:00	◎琉球古典音楽野村流音楽協会創立 100 周年記念式典 場所：沖縄市民会館大ホール 式順 司会：古屋順子事務局長 1. 開式のことば 銘苅 盛隆 副会長 2. 会長式辞 糸数 昌治 会長 3. 経過報告 島袋 功 副会長 4. 表彰 功劳賞 91名 感謝状 108名 5. 祝 辞 玉城 デニー 沖縄県知事 普久原 均 琉球新報社社長 安慶名 久美子 琉球箏曲興陽会会長 (録画メッセージ) 金城ノーマンハワイ支部長 與那嶺義勝アルゼンチン支部長 大城マリコ・ブルーナ ブラジル支部長 伊芸エクトルペルー支部長 6. 閉式のことば 銘苅 盛隆 副会長
			15 : 00	◎琉球古典音楽野村流音楽協会創立 100 周年記念公演 (中部地区) 場所：沖縄市民会館大ホール 出演：コザ支部、北谷支部、具志川支部、嘉手納支部 プログラム 1. 幕開け斉唱 口上かぎやで風、恩納節、辺野喜節 2. 舞踊 天川節之踊 3. 斉唱 花風節・本花風節 4. 斉唱 稲まづん節・早作田節 金武節・白瀬走川節 5. 独唱 (二揚) 干瀬節、子持節、散山節、百名節 6. 中幕斉唱 ちゃんな節、大兼久節 7. 舞踊 傘の鳩間節、谷茶前節 8. 独唱 (二揚) 仲風節、述懐節、下出し仲風節、下出し述懐節 9. 独唱 (本調子) 仲村渠節、赤田風節、仲風節、述懐節 10. 舞踊 いからしゃや松竹梅 11. 終幕斉唱 加那ヨ一節・島尻天川節
	5	日	14 : 00	◎創立 100 周年記念事業 記念誌委員会 (事務局会議) 場所：A&W 北谷店
	9	土	10 : 00	◎第 8 回執行部会 場所：A&W 北谷国体道路店 議題 1. 創立 100 周年記念事業 奉納演奏会について 2. 令和 6 年度教師・師範免許試験の審査員について

月	日	曜	時間	事 項
11	9	土		3. 琉球新報社 第25回新春を寿ぐについて 4. 第9回おきなわ伝統「若衆芸術祭」について 5. その他
	10	日	09：00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：島袋 英治 節組：かぎやで風節 組踊：二童敵討、孝行之巻
	17	日	13：30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市農民研修センター 指導者：銘苅 盛隆 節組：「作田節之踊」「鳴子踊」「ゼイおどり」「金細工」「四季口説」「黒島口説」
	30	土	11：00	◎第9回執行部会 議題 1. 伊佐川世瑞師・世禮國男師奉納演奏会について 2. 令和6年度教師・師範免許試験について 3. 琉球新報社 第25回新春を寿ぐについて 4. その他 教師研修会の幹事について 場所：コメダ珈琲知花店
14：00			◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 節組：かぎやで風節、長伊平屋節、長ちゃんな節、伊集早作田節 本伊平屋節、比屋定節、宇地泊節、屋慶名節	
12	1	日	09：00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：島袋 功 節組：ちゃんな節 組踊：萬歳敵討、雪払い
	7	土	10：00	◎第9回執行部会 議題 1. 伊佐川世瑞師・世禮國男師奉納演奏会について 2. 令和6年度教師・師範免許試験について 3. 琉球新報社 第25回新春を寿ぐについて 4. その他 教師研修会の幹事について 場所：ちやたんニライセンター
	14	土	10：00	◎幹事会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく 議題 1. 伊佐川世瑞師・世禮國男師奉納演奏会について 2. 令和6年度教師・師範免許試験について

月	日	曜	時間	事 項
12	14	土		3. 琉球新報社 第25回新春を寿ぐについて 4. その他 教師研修会の幹事について
	16	月	19:00	◎創立100周年記念事業 記念誌委員会（事務局会議） 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園
	22	日	13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：銘苅 盛隆 節組：自主公演演目 (若衆こてい節、獅子舞、本嘉手久節之踊、固め節、海のちんぼうら、黒島口説)
			14:00	◎創立100周年記念公演 北部公演 リハーサル 場所：数久田公民館
	29	日	10:00	<協力事業>第9回おきなわ伝統芸能若衆芸術祭 場所：琉球新報ホール 琉球新報賞：濱崎心優 若衆優秀賞：大城昇馬、大城栄舞、内間雪帆 <団体若衆優秀賞> 斉唱：野村流音楽協
1	5	日	09:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：上間 克美 節組：かぎやで風節 組踊：二童敵内、雪払い
	6	月	11:30	◎第10回執行部会 場所:アフタヌーンティールームりゅうぼう内 各所年始あいさつ廻りの後に開催 議題 1. 創立100周年記念誌の販売金額について 2. 芸能コンクールリハーサルのための新報社舞台借用について 3. その他
	12	日	13:00	◎教師研修会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：宮城 勝秀 節組：かぎやで風節、仲間節、仲村渠節、芋之葉節、すき節、 清屋節、東細節、宇地泊節、綾蝶節、久米阿嘉節、 宮城こはでさ節、前の浜之踊

月	日	曜	時間	事 項
1	12	日	17:00	◎創立 100 周年記念公演 北部公演 リハーサル 場所：数久田公民館
	13	月 祝	10:00	◎幹事会 場所：ちやたんニライセンター 議題 1. 創立 100 周年記念誌の販売金額について 2. 芸能コンクールリハーサルのための新報社舞台借用について 3. その他
	19	日	10:00	◎理事・相談役会 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく 議題 1. 創立 100 周年記念誌の販売金額について 2. 芸能コンクールリハーサルのための新報社舞台借用について 3. その他
			13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市農民研修センター 指導者：宮城 武碩 節組：自主公演演目 (若衆こてい節、獅子舞、本嘉手久節之踊、固め節、海のちんぼうら、黒島口説)
	25	土	14:00	◎創立 100 周年記念公演 北部公演 本番リハーサル 場所：名護市民会館大ホール
	26	日	15:00	◎琉球古典音楽野村流音楽協会創立 100 周年記念公演（北部地区） 場所：名護市民会館大ホール 出演：名護支部、読谷支部、石川支部、本部支部、今帰仁支部、伊是名支部、伊平屋支部 プログラム 1. 幕開け斉唱 口上かぎやで風、恩納節、辺野喜節 2. 舞踊 天川節之踊 3. 斉唱 花風節・本花風節 4. 斉唱 稲まづん節・早作田節 金武節・白瀬走川節 5. 独唱（二揚）干瀬節、子持節、散山節、百名節 6. 中幕斉唱 ちゃんな節、大兼久節 7. 舞踊 傘の鳩間節、谷茶前節 8. 独唱（二揚）仲風節、述懐節、下出し仲風節、下出し述懐節 9. 独唱（本調子）仲村渠節、赤田風節、仲風節、述懐節 10. 舞踊 松竹梅鶴亀 11. 終幕斉唱 加那ヨ一節・島尻天川節

月	日	曜	時間	事 項
1	29	水	19 : 00	<協力事業>第 25 回新春を寿ぐ「歌い初め・舞い初め華舞台」 場所：沖縄県立武道館
2	1	土	10 : 00	◎第 11 回執行部会 議題 1. 令和 6 年度教師・師範免許試験応募者について 2. 本部事業のあり方について 3. その他 場所：A&W 北谷国体道路店
	2	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：島袋 英治 節組：かぎやで風節 組踊：二童敵討、雪払い
	15	土	13 : 00	◎令和6年度教師・師範免許審査委員委嘱状交付式並びに書類審査 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく研修室
	23	日	13 : 00	◎創立 100 周年記念公演 南部公演 リハーサル 場所：西原町社会福祉センター
			13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：北谷町商工会議所ホール 指導者：島袋 功 節組：自主公演演目 舞台稽古 (磯千鳥、作田、本嘉手久、若衆こてい節、黒島口説、松竹梅鶴 亀、固み節、海のちんぼうら、鷺の鳥、みやらび、いちゅび小、 獅子舞、稲まづん、汀間当)
	24	月 祝	15 : 30	◎事務局長&会計打合せ 場所：コメダ珈琲登川店
3	1	土	10 : 00	◎第 12 回執行部会 議題 1. 令和 6 年度教師・師範免許試験について 2. 創立 100 周年記念誌の印刷契約について 3. 三線の日「世禮國男胸像前演奏」への執行部案内について 4. 本部事業のあり方について 5. その他 場所：ちゃたんニライセンター
	2	日	13 : 30	◎組踊地謡研修部 第 42 回自主公演 ～えにし～ 場所：国立劇場おきなわ小劇場 演目：護佐丸敵討、雪払い
	8	土	14 : 00	◎創立 100 周年記念公演 南部公演 リハーサル 場所：豊見城市中央公民館

月	日	曜	時間	事 項
3	9	日	14 : 00	◎舞踊地謡研修部 第 24 回自主公演「となか」～勇往邁進～ 場所：石川会館大ホール
	15	土	13 : 00	◎会計処理打合せ 事務局長・会計 場所：比嘉いつみ研究所
	22	土	14 : 00	◎創立 100 周年記念公演 南部公演 本番リハーサル 場所：豊見城市中央公民館
	23	日	15 : 00	◎琉球古典音楽野村流音楽協会創立 100 周年記念公演（南部地区） 場所：豊見城市中央公民館ホール 出演：那覇支部、宜野湾支部、浦添支部、関東支部、関西支部 プログラム 1. 幕開け斉唱 口上かぎやで風、恩納節、辺野喜節 2. 舞踊 天川節之踊 3. 斉唱 花風節・本花風節 4. 斉唱 稲まづん節・早作田節 金武節・白瀬走川節 5. 独唱（二揚）干瀬節、子持節、散山節、百名節 6. 中幕斉唱 ちゃんな節、大兼久節 7. 舞踊 傘の鳩間節、谷茶前節 8. 独唱（二揚）仲風節、述懐節、下出し仲風節、下出し述懐節 9. 独唱（本調子）仲村渠節、赤田風節、仲風節、述懐節 10. 舞踊 松竹梅鶴亀 11. 終幕斉唱 加那ヨ一節・島尻天川
	29	土	10 : 00	◎令和 6 年度教師実技審査 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく ◆審査員 城間盛秋、與那嶺靖、宮平永次郎、仲宗根朝儀、仲間稔、 山内昌也、与那嶺直樹、眞榮田徹也、伊良波ゆかり、 儀保明美（欠） ◆三線教師合格者 16 名 合格率 69.56%
	30	日	10 : 00	◎令和 6 年度師範及び笛・胡弓実技審査 場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく ◆審査員 徳原清文、玉城巖、玉城秀木、宇栄原宗真、宮城武碩、 濱里長希、真栄喜清次、内間清彦、島袋和盛、内間悦子（欠） 東江司（笛）、島袋菊江（胡弓） ◆三線師範合格者 8 名 合格率 88.88% 胡弓師範合格者 3 名 合格率 100% 笛教師合格者 1 名 合格率 100% 胡弓教師合格者 2 名 合格率 100%

令和6年度 一般会計収支決算書

収 入	5,664,929 円
支 出	5,478,083 円
次年度へ繰越金	186,846 円

自: 令和6年 4月 1日
至: 令和7年 3月31日
(単位: 円)

収入の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 越 金	940,181	940,181	0	前年度より繰り越し
2	会 費	2,300,000	2,234,570	△ 65,430	県内 ¥ 1,737,500、県外 ¥ 429,500、外国 ¥ 23,970、過年度 ¥ 33,600、次年度外国 ¥ 10,000
3	寄 付 金	1,000	29,638	28,638	アルゼンチン支部より
4	免 許 料	1,800,000	1,400,000	△ 400,000	交付料師14名 × 3万円、教師29名 × 2万円、受験料39 × 1万円 国外5,000円+R5年度5,000
5	事 業 収 入	130,000	131,750	1,750	ちゃんな3号 ¥ 18,500、ちゃんな6号 ¥ 4,500、徽章 ¥ 86,750、定 ¥ 19,000
6	雑 収 入	50,000	178,790	128,790	興陽会より謝礼金、施設取消戻り金、祝儀、利息等
7	繰 入 金	500,000	750,000	250,000	工工四事業より
合 計		5,721,181	5,664,929	△ 56,252	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 議 費	190,000	167,713	△ 22,287	相談役・理事会・幹事会・執行部会
2	事 務 諸 費	150,000	192,159	42,159	文具代・コピー代・消耗品代
3	事 業 費	2,000,000	1,168,555	△ 831,445	総会関係、免許状・免許審査関係、琉楽奨励賞へ10万、若衆公演へ10万、監査、その他
4	分 担 金	100,000	100,000	0	野村流合同協議会へ
5	助 成 金	800,000	800,000	0	師範会・教師会・組研・舞研
6	通 信 費	350,000	352,556	2,556	切手・ハガキ代・通話料等
7	慶 弔 費	100,000	189,553	89,553	祝儀、寄付、供花、功労賞花束代
8	渉 外 費	200,000	240,500	40,500	子ども大会弁当代、新年号掲載広告代、箏曲広告代、他
9	手 当	810,000	810,000	0	事務局手当
10	交 通 費	500,000	482,468	△ 17,532	相談役・理事・幹事・役員等交通費
11	支 部 育 成 費	100,000	68,602	△ 31,398	県外・海外支部への資料送付代等
12	祭 祀 費	60,000	60,000	0	(那覇/波の上旭ヶ丘公園・コザ/八重島・名護/伊差川) 顕彰碑清掃費
13	雑 費	50,000	41,860	△ 8,140	振込手数料、消耗品等
14	印 刷 費	1,000	0	△ 1,000	次年度から該当の科目は廃止
15	調 整 基 金	1,000	0	△ 1,000	
16	予 備 費	47,181	0	△ 47,181	
17	委 託 料	260,000	254,117	△ 5,883	レンタル倉庫代・HP管理代
18	繰 出 金	1,000	550,000	549,000	工工四事業へ
小 計		5,720,181	5,478,083	△ 242,098	
19	繰 越 金	1,000	186,846	185,846	次年度へ繰越
合 計		5,721,181	5,664,929	△ 56,252	

調整基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
1,035,581	2,200,000	700,000	2,535,762	利息 ¥ 181 < 沖縄銀行/赤道支店へ預入 >

伊差川世瑞・世禮國男顕彰基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
354,817	0	354,996	0	利息 ¥ 179 < 4/27 創立100周年事業奉納演奏資金へ >

令和6年度 協力事業関係明細書

ハワイ・マウイ島被災地義援金

収入

各支部より 295,313
一般会計より 4,687 #243

合計 ￥300,000

支出

ハワイ支部長へ委託 ￥300,000 11月1日

那覇支部	12,000	石川支部	10,500
浦添支部	18,500	名護支部	45,500
宜野湾支部	34,000	本部支部	10,000
北谷支部	19,000	今帰仁支部	10,000
コザ支部	40,000	関西支部	12,813
嘉手納支部	7,000	九州支部	10,000
読谷支部	43,000		
具志川支部	23,000	合計	¥295,313

沖縄芸能連盟創立50周年記念誌

収入

各支部より 396,000
一般会計より 4,000 本部保管用#95

合計 ￥400,000

支出

沖縄連へ支払 ￥400,000

那覇支部	36,000	石川支部	24,000
浦添支部	24,000	名護支部	52,000
宜野湾支部	24,000	本部支部	8,000
北谷支部	24,000	今帰仁支部	12,000
コザ支部	88,000	関東支部	8,000
嘉手納支部	4,000	関西支部	8,000
読谷支部	28,000	九州支部	4,000
具志川支部	52,000	合計	¥396,000

令和6年度 協力事業関係明細書

第59回記念「こども舞踊大会」

2024年7月20日(土) 琉球新報ホール

収入

各支部より	90,000	
琉球新報社より	30,000	協力金24.10/21
一般会計より補填	610	
合計	¥120,610	

那覇支部	10,800	読谷支部	7,200
浦添支部	5,400	具志川支部	12,600
宜野湾支部	5,400	石川支部	5,400
北谷支部	3,600	名護支部	12,600
コザ支部	21,600	本部支部	1,800
嘉手納支部	1,800	今帰仁支部	1,800

¥90,000

支出

弁当代	30,500	#170
入場券代	90,000	新報社へ振込
振込手数料	110	#241
合計	¥120,610	

那覇支部	3,000	北谷支部	3,000
浦添支部	2,000	読谷支部	2,000
宜野湾支部	1,500	石川支部	2,000
コザ支部	1,500	名護支部	3,500
読谷支部(斉唱)	7,500	具志川支部	4,500

61名 × @500 ¥30,500

第13回 沖縄連の日	
2024年11月01日(金)国立劇場おきなわ大劇場	
収入	
出演料	30,000 沖縄芸能関連協議会より
合計	¥30,000
支出	
入場券・会費・登録代	27,000 沖縄芸能関連協議会へ支払
謝礼金	3,000 地謡出演者2名¥1000、¥2000
合計	¥30,000
<出演者> 與那嶺 靖 上地 健 小波本 直和 笛:名嘉山 道夫 胡弓:島袋 菊江	

令和6年度 協力事業関係明細書

第9回 おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」					
2024年12月28日(土)琉球新報ホール					
収入			支出		
参加費	11,000	22名 × ￥500	参加費・入場券代	73,000	新報社へ支払
入場券代	64,000	32枚 × 2,000	謝礼金	40,000	内間勝美道場・知念悦子太鼓研究所
一般会計より	40,000	補填 #284	一般会計へ	2,000	雑収入処理 #92
合計	¥115,000		合計	¥115,000	

第25回新春を寿ぐ「歌い始め・舞い始め華舞台」			
2025年1月29日(水)沖縄県立武道館アリーナ棟			
収入			
コザ支部追加1枚	1,000	那覇支部	10,000
入場券代100枚	100,000	読谷支部	7,000
合計	¥101,000	浦添支部	8,000
		具志川支部	14,000
		宜野湾支部	4,000
		石川支部	7,000
		北谷支部	5,000
		名護支部	11,000
		コザ支部	29,000
		本部支部	2,000
		嘉手納支部	1,000
		今帰仁支部	3,000
		¥101,000	
支出			
入場券代金	100,000	琉球新報社へ支払	
一般会計へ	1,000	雑収入処理 #117	
合計	¥101,000		

琉球箏曲興陽会創立85周年記念公演

2025年3月16日(日)国立劇場おきなわ 大劇場

収入

入場券代	52,000	26名 × 2,000
一般会計より	8,000	執行部4名分 #325
興陽会より	30,000	謝礼
合計	¥90,000	

支出

入場券代	60,000	興陽会へ支払い
一般会計へ	30,000	雑収入処理 #119
合計	¥90,000	

出演者

糸数昌治	銘苅盛隆	島袋功	宮城武碩	與那嶺靖
上地健	浜川智昭	上間克美	神田久男	新城榮一
崎濱秀光	津波古郁枝	花城和美	仲村渠達也	小嶺克仁
比嘉俊一	安里トシ子	下里光江	仲宗根朝儀	吉元和男
知念政智	源河朝仁	新城康弘	佐喜眞光雄	照屋早月
伊波陽香留	仲間稔	上江洲治	諸見里朝弘	古屋順子

令和6年度 創立100周年記念事業 決算書

収 入 11,132,697 円

支 出 9,446,578 円

次年度へ繰越金 1,686,119 円

自: 令和6年 4月 1日

至: 令和7年 3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	700,000	1,054,996	354,996	調整基金より¥700,000、顕彰碑基金より¥354,996
2	入 場 券	5,324,400	5,837,000	512,600	2,919枚 詳細別紙
3	広 告 料	2,000,000	3,490,000	1,490,000	一般広告¥2,460,000、研究所広告¥1,030,000 詳細別紙
4	記 念 誌 販 売	4,000,000	0	△ 4,000,000	令和7年度700部印刷販売予定
5	寄 付 金	1,000	750,335	749,335	8絃会より¥333,335、フラシル支部¥30,000、横笛協 会¥30,000、島袋艶子様¥10,000、3会場祝儀 ¥347,000
6	雑 収 入	1,000	366	△ 634	預金利息
合 計		12,026,400	11,132,697	△ 893,703	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 議 費	250,000	189,760	△ 60,240	式典委員会、公演委員会、記念誌委員会参加者交通 費等
2	事 業 費	640,000	451,755	△ 188,245	賞状台紙、用紙、筆耕代、看板
3	会 場 費	1,800,000	952,430	△ 847,570	沖縄市民会館、名護市民会館、豊見城市中央公 民館、他リハーサル借用施設代
4	音 響 照 明 費	270,000	758,470	488,470	沖縄市民会館¥413,600名護¥124,870豊見城 中央公民館¥220,000
5	通 信 費	45,000	95,963	50,963	切手代、ハガキ代、YouTube配信使用料、
6	印 刷 費	5,560,000	2,605,240	△ 2,954,760	3,000冊プログラム¥2,409,000式典プログラム ¥116,600 他チラシ、チケット
7	謝 礼	1,200,000	1,071,000	△ 129,000	立方、太鼓、舞台監督、MC、裏方謝礼金
8	記 念 品 代	75,000	91,907	16,907	キーホルダー、タオルハンカチ等
9	事 務 諸 費	30,000	91,802	61,802	プリンターインク、用紙、コピー代等
10	食 糧 費	800,000	431,796	△ 368,204	弁当、おにぎり、嗜好品、飲料水等
11	雑 費	150,000	166,017	16,017	祝儀返礼用お菓子、リボン、振込手数料等
12	繰 出 金	100,000	2,540,438	2,440,438	若衆公演へ¥340,438、調整基金へ ¥2,200,000
	小 計	10,920,000	9,446,578	△ 1,473,422	
13	繰 越 金	1,106,400	1,686,119		令和7年度100周年事業へ
合 計		12,026,400	11,132,697	△ 893,703	

創立100周年記念公演広告集計表

	合計	内訳				
		研究所広告件数	金額	一般広告件数	金額	備考
那覇支部	¥255,000	17	¥85,000	8	¥170,000	
浦添支部	¥130,000	14	¥70,000	1	¥60,000	
宜野湾支部	¥130,000	14	¥70,000	4	¥60,000	
北谷支部	¥95,000	7	¥35,000	5	¥60,000	
コザ支部	¥395,000	29	¥145,000	15	¥250,000	
嘉手納支部	¥25,000	3	¥15,000	1	¥10,000	
具志川支部	¥250,000	24	¥120,000	10	¥130,000	
読谷支部	¥225,000	21	¥105,000	4	¥120,000	
石川支部	¥190,000	18	¥90,000	9	¥100,000	
名護支部	¥375,000	25	¥125,000	18	¥250,000	
本部支部	¥75,000	3	¥15,000	3	¥60,000	
今帰仁支部	¥70,000	2	¥10,000	3	¥60,000	
伊是名支部	¥15,000	1	¥5,000	1	¥10,000	
関東支部	¥95,000	15	¥75,000	1	¥20,000	
関西支部	¥175,000	9	¥45,000	6	¥130,000	
九州支部	¥30,000	4	¥20,000	1	¥10,000	
執行部	¥960,000	0	¥0	49	¥960,000	
合計	¥3,490,000	206	¥1,030,000	139	¥2,460,000	

創立100周年記念公演入場券集計表

	枚数	金額	備考		枚数	金額	備考
那覇支部	229	¥458,000		関東支部	40	¥80,000	
浦添支部	195	¥390,000		九州支部	9	¥18,000	
宜野湾支部	170	¥340,000		沖縄市民会館	10	¥20,000	当日券販売
北谷支部	111	¥222,000		名護市民会館	19	¥38,000	〃
コザ支部	673	¥1,346,000		豊見城市中央公民館	16	¥32,000	〃
嘉手納支部	31	¥62,000		興陽会	166	¥332,000	
具志川支部	201	¥402,000		立方・太鼓	3	¥5,000	
読谷支部	402	¥804,000		執行部販売	9	¥18,000	
石川支部	168	¥336,000					
名護支部	353	¥706,000		合計	2,919	5,837,000	
本部支部	49	¥98,000					
今帰仁支部	65	¥130,000					

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 第18回 琉楽奨励賞決算書

収 入	664,000 円
支 出	664,000 円
差引残額	0 円

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

収入の部

(単位：円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	100,000	100,000	0	一般会計より繰入
2	受 験 料	500,000	564,000	64,000	168名×3000 30名×2000
3	雑 収 入	1,000	0	△ 1,000	
合 計		601,000	664,000	63,000	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	260,000	189,700	△ 70,300	沖縄市農民研修センター、うるま市民芸術劇場燈ホール
2	事 務 費	25,000	10,228	△ 14,772	用紙、封筒、コピー代
3	会 議 費	5,000	3,840	△ 1,160	打合せ飲食費
4	印 刷 費	40,000	67,780	27,780	プログラム、インク代
5	通 信 費	6,000	18,854	12,854	切手代等
6	報 償 費	120,000	78,600	△ 41,400	舞踊研究所、裏方等への謝礼
7	表 彰 費	50,000	54,500	4,500	会長賞へ工工四贈呈<上13中9初5続3舞Ⅰ2舞Ⅱ1>
8	交 通 費	36,000	72,000	36,000	審査員
9	雑 費	58,000	56,923	△ 1,077	弁当&お茶、お菓子等
10	繰 出 金	1,000	111,575	110,575	若衆公演へ
合 計		601,000	664,000	63,000	

令和6年度 創立100周年記念事業「若衆公演」 決 算 書

収 入	703,633 円
支 出	703,633 円
差引残額	0 円

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

収入の部

(単位：円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	100,000	552,013	452,013	琉楽奨励賞より¥111,575、一般会計より¥100,000、100周年会計より¥340,438
2	入 場 料	900,000	50,000	△ 850,000	高校3年生まで公演参加費 28名(22×2000/6×1000)
3	雑 収 入	1,000	101,620	100,620	施設取消料¥80,620、祝儀2万円、その他
合 計		1,001,000	703,633	△ 297,367	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	250,000	169,800	△ 80,200	うるま市民芸術劇場(響ホール)
2	事 務 費	30,000	5,146	△ 24,854	用紙、封筒、コピー代
3	会 議 費	10,000	1,200	△ 8,800	打合せ飲食費
4	印 刷 費	80,000	105,950	25,950	若衆公演プログラム
5	音 響 照 明 費	150,000	228,300	78,300	響ホール
6	通 信 費	10,000	1,422	△ 8,578	切手代
7	報 償 費	300,000	156,500	△ 143,500	舞踊研究所、裏方等への謝礼
8	交 通 費	20,000	6,000	△ 14,000	若衆公演実行委員会へ交通費
9	雑 費	150,000	29,315	△ 120,685	弁当&お茶、お菓子等
10	繰 出 金	1,000	0	△ 1,000	
合 計		1,001,000	703,633	△ 297,367	

令和6年度 工工四販売事業収支決算書

収 入	2,580,192 円
支 出	2,329,864 円
次年度へ繰越金	250,328 円

自: 令和6年4月 1日
至: 令和7年3月 31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	販売益(上巻)	150冊×2000 300,000	378,500	78,500	53冊×2000円 106,000 150冊×1800円 270,000 1冊×2500円 2,500
2	販売益(中巻)	150冊×2000 300,000	233,100	△ 66,900	37冊×2000円 74,000 87冊×1800円 156,600 1冊×2500円 2,500
3	販売益(下巻)	80冊×2000 160,000	201,400	41,400	26冊×2000円 52,000 83冊×1800円 149,400
4	販売益(続巻)	60冊×1200 72,000	36,200	△ 35,800	11冊×1200円 13,200 23冊×1000円 23,000
5	販売益(初級)	150冊×1500 225,000	367,500	142,500	76冊×1500円 114,000 195冊×1300円 253,500
6	販売益(舞踊Ⅰ)	100冊×2000 200,000	265,600	65,600	50冊×2000円 100,000 92冊×1800円 165,600 2冊 贈呈 0
7	販売益(舞踊Ⅱ)	100冊×2000 200,000	241,800	41,800	57冊×2000円 114,000 71冊×1800円 127,800 2冊 贈呈 0
8	販売益(特集)	50冊×2000 100,000	46,000	△ 54,000	5冊×2000円 10,000 20冊×1800円 36,000
9	販売益(組踊・朝薫5番)	8冊×5000 40,000	61,500	21,500	3冊×5000円 15,000 5冊×4500円 22,500 5冊×4800円 24,000
10	販売益(楽典てびき)	冊×1500 0	69,000	69,000	24冊×1500円 36,000 30冊×1100円 33,000
11	販売益(琉歌散策)	冊×2000 0	97,000	97,000	11冊×2000円 22,000 50冊×1500円 75,000 諸見川和男氏より寄贈
12	販売益(琉歌散策特集)	冊×1200 0	31,800	31,800	9冊×1200円 10,800 30冊×700円 21,000 諸見川和男氏より寄贈
小 計		1,597,000	2,029,400	432,400	
雑収入		0	792	792	預金利息等
繰 入 金		1,000	550,000	549,000	一般会計より
合 計		1,598,000	2,580,192	982,192	

支出の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	印 刷 費	1,300,000	1,540,550	240,550	工工四上巻550冊、中巻500冊、 舞踊Ⅰ100冊
2	交 通 費	20,000	36,591	16,591	送料¥16,591、手当¥20,000
3	保 管 料	22,000	0	△ 22,000	近代美術印刷
4	雑 費	1,500	2,723	1,223	振込手数料、事務用品等
小 計		1,343,500	1,579,864	236,364	
5	繰 出 金	254,500	750,000	495,500	一般会計へ
合 計		1,598,000	2,329,864	731,864	

令和6年度 財産目録

科 目	金 額(円)	摘 要	備 考
普通預金 現金	175,540 11,306	沖縄銀行 赤道支店	一般会計(合計 ¥186,846)
普通預金	2,535,762	沖縄銀行 赤道支店	調整基金
普通預金	1,686,119	琉球銀行 石川支店	100周年事業専用
普通預金	0	沖縄銀行 赤道支店	伊差川世瑞・世禮國男顕彰基金＜100周年事業へ＞次年度科目削除
普通預金	250,328	沖縄銀行 安慶名支店	工工四専用
合 計	4,659,055		

科 目	金 額(円)	摘 要	備 考	3月末現在	
				近美在庫	手持在庫
工工四 (上巻)	692,000	346 冊 × 2000円	令和5年度残高 令和6年度売上 550 冊 500増刷 204 冊 冊	290	56
工工四 (中巻)	750,000	375 冊 × 2000円	令和5年度残高 令和6年度売上 500 冊 500増刷 125 冊 冊	356	19
工工四 (下巻)	422,000	211 冊 × 2000円	令和5年度残高 令和6年度売上 320 冊 109 冊 冊	166	45
工工四 (初級)	343,500	229 冊 × 1500円	令和5年度残高 令和6年度売上 500 冊 271 冊 冊	187	42
工工四 (続巻)	799,200	666 冊 × 1200円	令和5年度残高 令和6年度売上 700 冊 34 冊 冊	643	23
工工四 (舞Ⅰ)	804,000	402 冊 × 2000円	令和5年度残高 令和6年度売上 546 冊 142 冊 2 冊贈呈	360	42
工工四 (舞Ⅱ)	1,634,000	817 冊 × 2000円	令和5年度残高 令和6年度売上 947 冊 128 冊 2 冊贈呈	779	38
工工四 (特集)	260,000	130 冊 × 2000円	令和5年度残高 令和6年度売上 159 冊 29 冊 冊	113	17
工工四 (組踊・朝薫5番)	1,975,000	395 冊 × 5000円	令和5年度残高 令和6年度売上 410 冊 15 冊 冊	381	14
琉歌散策	470,000	94 冊 × 2000円	令和6年度在庫 令和6年度売上 155 冊 61 冊	協会倉庫 60 諸見川和男氏より寄贈	34
琉歌散策特集	905,000	181 冊 × 1200円	令和6年度在庫 令和6年度売上 220 冊 39 冊	協会倉庫 140 諸見川和男氏より寄贈	41
楽典のてびき	192,000	128 冊 × 1,500円	令和5年度残高 令和6年度売上 182 冊 54 冊	協会倉庫 110	18
徽章 (男性用・女性用)	183,000	366 枚 × 500円	令和5年度残高 令和6年度売上 595 枚 193 枚 36 枚	女性用 男性用	260 106
会誌ちゃんな3号	81,000	81 冊 × 1,000円	令和5年度残高 令和6年度売上 118 冊 37 冊		
会誌ちゃんな6号	154,500	103 冊 × 1,500円	令和5年度残高 令和6年度売上 106 冊 3 冊		
「 定 」	100,500	201 枚 × 500円	令和5年度残高 令和6年度売上 239 枚 38 枚		
合 計	9,765,700				

※贈与があった場合は内訳書作成する。

事業並びに会務、会計監査報告書

令和7年4月12日(土)北谷ニライセンターセミナー室に於いて、琉球古典音楽野村流音楽協会 会則第8条第4項に基づき会長はじめ事務局員の説明のもと、令和6年度事業並びに会務、一般会計(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)、創立100周年事業、若衆公演事業、第18回琉楽奨励賞事業、工工四販売事業等の収支の会計監査を実施いたしました。

- (1) 令和6年度の事業並びに会務について、適正に執行されていることを確認しました。
- (2) 令和6年度会計について、会計簿の処理及び証憑書類の整理が適正に処理されていることを確認しました。
- (3) 一般会計次年度への繰越金 186,846 円は、現金 11,306 円と沖縄銀行/赤道支店へ 175,540 円が適正に管理されていることを確認しました。
- (4) 調整基金 2,535,762 円は、沖縄銀行/赤道支店へ適正に管理されていることを確認しました。
- (5) 工工四事業次年度への繰越金 250,328 円は、沖縄銀行/安慶名支店へ適正に管理されていることを確認しました。
- (6) 創立100周年事業次年度への繰越金 1,686,119 円は、琉球銀行/石川支店へ適正に管理されていることを確認しました。

以上、ご報告いたします。

令和7年4月12日(土)

琉球古典音楽野村流音楽協会

監事 久 場 良 昌

監事 兼 島 兼 良

監事 新 垣 和 則

令和 7 年度事業並びに会務計画（案）

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

年間を通して、基本的に定例で開催されるもの

- 執行部会（毎月第 1 土曜日）
- 幹事会（偶数月の第 2 土曜日）
- 教師研修会（3 ヶ月に 1 回で第 2 日曜日）4 月・7 月・10 月・1 月
- 師範会（3 ヶ月に 1 回で第 4 土曜日）5 月・8 月・11 月・2 月
- 組踊地謡研修会（毎月第 1 日曜日）
- 舞踊地謡研修会（毎月第 3 日曜日）

月	日	曜日	時間	事 項
4	5	土	10：00	執行部会 場所：ちゃたんニライセンター
	6	日	09：00	組踊地謡研修会（以下、組研とする）
	12	土	09：30	会計監査 場所：ちゃたんニライセンター
	13	日	13：00	教師研修会 場所：北谷商工会 研修室
	19	土	10：00	第 1 回幹事会 場所：ちゃたんニライセンター
	20	日	13：30	舞踊地謡研修会総会（以下、（舞研とする）
	20	日	14：30	組研・舞研合同修了式 場所：沖縄市農研センター
	26	土	10：00	理事・相談役会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園
	26	土	13：30	世禮國男先生之像前 創立 100 周年事業終演報告 執行部
	27	日	13：00	伊差川世瑞師・世礼國男師 献奏会 場所：伊差川先生胸像前
	30	水	15：30	100 周年記念事業 公演委員会解散会
5	3	土	10：00	執行部会
	4	日	10：00	組研
	17	土	11：00	野村流始祖先師顕彰碑報告 場所：波の上（旭ヶ丘公園内）
	18	日	13：00	第 101 回定期総会 場所：ちゃたんニライセンターカナイホール
	24	土	13：00	師範会
	25	日	13：30	舞研
6	1	日	10：00	組研
	7	土	10：00	執行部会
	14	土	10：00	第 2 回幹事会
	15	日	10：00	舞研
7	2	水	10：00	合同協議会 波の上参拝
	5	土	10：00	執行部会
	6	日	13：00	組研
	13	日	13：00	教師研修会
	19	土	10：00	琉楽奨励賞 銅賞・銀賞 場所：うるま市ゆらてくホール
			17：00	協力事業 琉球新報社主催 第 60 回こども舞踊大会
	20	日	10：00	琉楽奨励賞 金賞・会長賞・若衆芸術祭選考会 場所：うるま市ゆらてくホール

	27	日	13 : 30	舞研
8	2	土	10 : 00	執行部会
	3	日	10 : 00	組研
	9	土	10 : 00	第 3 回幹事会
	17	日	13 : 30	舞研
	23	土	13 : 00	師範会
9	6	土	10 : 00	執行部会
	7	日	10 : 00	組研
			10 : 00	琉楽奨励賞表彰式及び激励公演 読谷村鳳ホール
	21	日	13 : 30	舞研
10	4	土	10 : 00	執行部会
	5	日	10 : 00	組研
	11	土	10 : 00	第 4 回幹事会
	12	日	13 : 00	教師研修会
	19	日	13 : 30	舞研
11	1	土	10 : 00	執行部会
	2	日	00 : 00	組研・舞研合同発表会 リハーサル 読谷村鳳ホール
	3	月	00 : 00	組研・舞研合同発表会 読谷村鳳ホール
	16	日	13 : 30	舞研
	22	土	10 : 00	師範会
12	6	土	10 : 00	執行部会
	7	日	10 : 00	組研
	13	土	10 : 00	第 5 回幹事会
	21	日	13 : 30	舞研
	27	土	10 : 00	理事・相談役会
			未定	協力事業 琉球新報社主催 第 10 回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」予定
1	3	土	10 : 00	執行部会
	4	日	10 : 00	組研
	5	月	10 : 00	年始あいさつ廻り 県教育庁文化財課・県文化観光部文化振興課・マスコミ各社
	10	土	10 : 00	教師・師範免許審査申込み締め切り
	11	日	13 : 00	教師研修会
	18	日	13 : 30	舞研
2	1	日	10 : 00	組研
	7	土	10 : 00	執行部会
	14	土	10 : 00	第 6 回幹事会
			13 : 00	令和 7 年度 教師・師範免許審査委員委嘱状交付式及び書類審査
	15	日	13 : 30	舞研
	28	土	13 : 00	師範会
3	7	土	10 : 00	執行部会

3	未定	未定	00 : 00	第 43 回組踊地謡研修部自主公演「えにし」リハーサル
	未定	未定	00 : 00	第 43 回組踊地謡研修部自主公演「えにし」本番
	21	土	10 : 00	令和 7 年度 教師・師範免許実技審査 場所：うるま市ゆらてく予定
	22	日	10 : 00	令和 7 年度 教師・師範免許実技審査 場所： 場所：うるま市ゆらてく予定
	未定	未定	00 : 00	第 26 回舞踊地謡研修部自主公演「となか」リハーサル
	未定	未定	00 : 00	第 26 回舞踊地謡研修部自主公演「となか」本番

令和7年度 一般会計予算(案)

収 入	5,167,846 円
支 出	5,167,846 円
差引残高	0 円

自: 令和 7年 4月 1日
至: 令和 8年 3月31日
(単位: 円)

収入の部

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 越 金	940,181	186,846	△ 753,335	前年度より繰り越し
2	会 費	2,300,000	2,300,000	0	県内830名×2000円・県外240×2000円、100×1000円、100名×500円、国外等
3	寄 付 金	1,000	1,000	0	
4	免 許 料	1,800,000	1,800,000	0	交付料師範14名×30000円、教師38名×20000円、受験料60名×10000円、国外5000円
5	事 業 収 入	130,000	130,000	0	楽典のてびき、徽章、定等
6	雑 収 入	50,000	50,000	0	決算利息、予算外事業等
7	繰 入 金	500,000	700,000	200,000	100周年事業より¥500,000工工四事業より¥200,000
合 計		5,721,181	5,167,846	△ 553,335	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 議 費	190,000	160,000	△ 30,000	相談役・理事会・幹事会・執行部会
2	事 務 諸 費	150,000	150,000	0	文具代・コピー代・消耗品代等
3	事 業 費	2,000,000	1,500,000	△ 500,000	監査・総会費・免許審査諸費・琉楽奨励へ10万、合同公演へ20万、その他
4	分 担 金	100,000	100,000	0	野村流合同協議会へ
5	助 成 金	800,000	800,000	0	師範会10万・教師会10万・組研30万・舞研30万
6	通 信 費	350,000	350,000	0	切手ハガキ代・通話料等
7	慶 弔 費	100,000	100,000	0	祝儀、寄付、供花、功労賞花束等
8	渉 外 費	200,000	200,000	0	子ども舞踊地謡弁当代・広告料等
9	手 当	810,000	810,000	0	事務局手当
10	交 通 費	500,000	500,000	0	相談役・理事幹事・役員等交通費
11	支 部 育 成 費	100,000	100,000	0	県外・海外支部への資料提供・役員交通費等
12	祭 祀 費	60,000	60,000	0	(那覇波之上、コザ八重島、名護伊差川)碑清掃費
13	雑 費	50,000	50,000	0	振込手数料、消耗品等
14	調 整 基 金	1,000	1,000	0	
15	予 備 費	47,181	1,000	△ 46,181	
16	委 託 料	260,000	260,000	0	ホームページ管理、レンタル倉庫¥180,000
17	繰 出 金	1,000	1,000	0	工工四事業等へ
小 計		5,719,181	5,143,000		
18	繰 越 金	1,000	24,846	23,846	次年度一般会計へ
合 計		5,720,181	5,167,846	△ 552,335	

調整基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
2,535,762	1,000	0	2,536,762	沖縄銀行/赤道支店

令和7年度 第19回 琉楽奨励賞予算(案)

収 入	601,000 円
支 出	601,000 円
差引残額	0 円

自: 令和7年4月 1日

至: 令和8年3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	100,000	100,000	0	一般会計より繰入
2	受 験 料	500,000	500,000	0	150×3000 25×2000
3	雑 収 入	1,000	1,000	0	
合 計		601,000	601,000	0	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	260,000	260,000	0	ホール使用料
2	事 務 費	25,000	25,000	0	用紙、封筒、コピー代
3	会 議 費	5,000	5,000	0	打合せ飲食費
4	印 刷 費	40,000	40,000	0	用紙・インク(パンフレット用)
5	通 信 費	6,000	6,000	0	切手代等<通知や賞状送付>
6	報 償 費	120,000	120,000	0	裏方等への謝礼
7	表 彰 費	50,000	50,000	0	会長賞へ工工四贈呈
8	交 通 費	36,000	36,000	0	審査員 12名×3千円
9	雑 費	58,000	58,000	0	弁当&お茶、お菓子等
10	繰 出 金	1,000	1,000	0	一般会計へ
合 計		601,000	601,000	0	

令和7年度 第39回 組研・舞研合同発表会予算(案)

収 入 1,201,000 円

支 出 1,201,000 円

差引残高 0 円

自：令和7年4月1日

至：令和8年3月31日

収入の部

(単位:円)

番号	勘定科目	前々年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計より繰入
2	入 場 券	750,000	1,000,000	250,000	組研、舞研600枚、支部400枚 @ ¥1000
3	雑 収 入	1,000	1,000	0	
合 計		951,000	1,201,000	250,000	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前々年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	250,000	250,000	0	読谷鳳ホール、リハーサル室等使用料
2	事 務 費	2,000	30,000	28,000	
3	会 議 費	3,000	10,000	7,000	
4	印 刷 費	70,000	70,000	0	入場券、プログラム
5	音響照明費	150,000	250,000	100,000	
6	通 信 費	5,000	5,000	0	切手、ハガキ代、FAX、電話料等
7	報 償 費	380,000	450,000	70,000	立ち方、裏方等への謝礼
8	交 通 費	10,000	9,000	△ 1,000	指導者交通費
9	雑 費	80,000	126,000	46,000	弁当代、飲み物代、その他
10	繰 出 金	1,000	1,000	0	一般会計へ
合 計		951,000	1,201,000	250,000	

令和7年度 工工四販売事業収支予算書(案)

収 入	2,133,000 円
支 出	2,133,000 円
差引残高	0 円

自:令和7年4月 1日
至:令和8年3月 31日
(単位:円)

収入の部

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	販売益(上巻)	150冊×2000 300,000	300,000	0	150冊×2000円 300,000
2	販売益(中巻)	150冊×2000 300,000	200,000	△ 100,000	100冊×2000円 200,000
3	販売益(下巻)	80冊×2000 160,000	500,000	340,000	250冊×2000円 500,000
4	販売益(続巻)	60冊×1200 72,000	60,000	△ 12,000	50冊×1200円 60,000
5	販売益(初級)	150冊×1500 225,000	300,000	75,000	200冊×1500円 300,000
6	販売益(舞踊Ⅰ)	100冊×2000 200,000	200,000	0	100冊×2000円 200,000
7	販売益(舞踊Ⅱ)	100冊×2000 200,000	200,000	0	100冊×2000円 200,000
8	販売益(特集)	50冊×2000 100,000	60,000	△ 40,000	30冊×2000円 60,000
9	販売益(組踊・朝薫5番)	8冊×5000 40,000	100,000	60,000	20冊×5000円 100,000
10	販売益(楽典てびき)	冊×1500 0	75,000	75,000	50冊×1500円 75,000
11	販売益(琉歌散策)	冊×2000 0	100,000	100,000	50冊×2000円 100,000 諸見川和男氏より寄贈
12	販売益(琉歌散策特集)	冊×1200 0	36,000	36,000	30冊×1200円 36,000 諸見川和男氏より寄贈
小 計		1,597,000	2,131,000	534,000	
雑収入		0	1,000	1,000	預金利息等
繰 入 金		1,000	1,000	0	一般会計より
合 計		1,598,000	2,133,000	535,000	

支出の部

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	印 刷 費	1,300,000	1,500,000	200,000	初級500冊、下巻500冊、他
2	配 達 費	20,000	20,000	0	配達に係る費用
3	保 管 料	22,000	20,000	△ 2,000	近代美術印刷
4	雑 費	1,500	5,000	3,500	振込手数料、事務用品等
5	繰 出 金	254,500	200,000	△ 54,500	一般会計へ
小 計		1,598,000	1,745,000	147,000	
繰 越 金		0	388,000	388,000	次年度工工四事業へ
合 計		1,598,000	2,133,000	535,000	

令和7年度 創立100周年記念事業 予算書(案)

収 入 5,188,119 円

支 出 5,188,119 円

差引残高 0 円

自: 令和7年 4月 1日

至: 令和8年 3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	700,000	1,686,119	986,119	令和6年度100周年記念事業より
2	入 場 券	5,324,400	0	△ 5,324,400	
3	広 告 料	2,000,000	1,000	△ 1,999,000	記念誌へ広告
4	記 念 誌 販 売	4,000,000	3,500,000		700冊 @ ¥ 5,000
5	寄 付 金	1,000	0	△ 1,000	
6	雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息等
合 計		12,026,400	5,188,119	△ 6,838,281	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 議 費	250,000	10,000	△ 240,000	打合せ等
2	事 業 費	640,000	250,000	△ 390,000	奉納演奏
3	会 場 費	1,800,000	0	△ 1,800,000	
4	音 響 照 明 費	270,000	0	△ 270,000	
5	通 信 費	45,000	0	△ 45,000	
6	印 刷 費	5,560,000	4,347,200	△ 1,212,800	700冊記念誌印刷費
7	謝 礼	1,200,000	20,000	△ 1,180,000	舞踊奉納演奏
8	記 念 品 代	75,000	0	△ 75,000	
9	事 務 諸 費	30,000	10,000	△ 20,000	プリンターインク、用紙
10	食 糧 費	800,000	15,000	△ 785,000	奉納演奏弁当代
11	雑 費	150,000	10,000	△ 140,000	
12	繰 出 金	100,000	500,000	400,000	一般会計へ
	小 計	10,920,000	5,162,200	△ 5,757,800	
13	予 備 費	1,106,400	25,919	△ 1,080,481	
合 計		12,026,400	5,188,119	△ 6,838,281	

「琉球古典音楽 野村流音楽協会・師範会」並びに
「琉球古典音楽 野村流音楽協会・教師研修会」
規程の一部改正について（案）

＜現行＞

（組織及び運営）

第3条 師範会、教師研修会の組織及び運営について次のとおりとする。

1 師範会に次の役員をおく。

（1）幹事、若干名

2 教師研修会に次の役員をおく。

（1）部 長 1 名

（2）副部長 1 名

（3）書 記 1 名

（4）会 計 1 名

（5）幹 事 若干名

3 役員は、会員のなかから互選し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 第1項及び第2項の役員は、幹事会を構成し研修会の運営に当たる。

5 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

＜改正案＞

（組織及び運営）

第3条 師範会、教師研修会の組織及び運営について次のとおりとする。

1 師範会、教師研修会に次の役員をおく。

（1）幹事、若干名

2 教師研修会の役員は、本島内の各支部輪番制とし、任期は1年とする。ただし再任は妨げない。

3 師範会の役員は、会員のなかから互選し、任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

4 第2項及び第3項役員は、幹事会を構成し研修会の運営に当たる。

5 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

附則 この規定は、令和7年5月18日より施工する。

支 部 別 会 員 数

令和7年4月1日 現在

支部名		会員数合計	会員数内訳				
			一般	80歳以上		14歳～20歳未満	14歳未満
			会費2000円	会費2000円	会費1000円	会費500円	会費免除
1	那 覇	76	67	6	2	1	0
2	浦 添	63	57	1	0	4	1
3	宜 野 湾	60	28	15	10	6	1
4	北 谷	37	27	0	7	3	0
5	コ ザ	255	211	11	12	16	5
6	嘉 手 納	8	4	2	2	0	0
7	読 谷	60	46	2	2	9	1
8	具 志 川	102	88	8	1	5	0
9	石 川	57	46	4	0	3	4
10	名 護	139	107	5	14	9	4
11	本 部	11	11	0	0	0	0
12	今 帰 仁	56	22	0	0	13	21
13	伊 是 名	11	9	0	2	0	0
14	伊 平 屋	8	8	0	0	0	0
県内 計		943	98	54	52	69	37
15	関 東	143	128	9	5	1	0
16	関 西	58	46	8	4	0	0
17	九 州	14	12	1	1	0	0
県外 計		215	186	18	10	1	0
1	ハ ワ イ	65	65	－	－	－	－
2	北 米	6	6	－	－	－	－
3	ペ ル ー	31	31	－	－	－	－
4	ブ ラ ジ ル	38	38	－	－	－	－
5	アルゼンチン	32	32	－	－	－	－
国外 計		172	172	0	0	0	0
合 計		1,330	456	72	62	70	37

※ 国外については、一分過年度のデータを掲載しています。会費/2米ドル。

本部役員及び事務局員

役 職	氏 名	支部名	郵便番号	住 所	電話番号
顧 問	普 久 原 均	—			
相 談 役	大 城 朝 徳	具志川			
〃	座 安 盛 善	那 覇			
〃	比 嘉 謙 次	石 川			
〃	照 屋 勝 義	那 覇			
〃	石 川 親 助	宜野湾			
〃	澤 岷 安 松	コ ザ			
〃	上運天秀雄	具志川			
〃	新 里 光 雄	具志川			
〃	神 田 米 三	具志川			
〃	平 良 薫	コ ザ			
〃	島 袋 英 治	コ ザ			
〃	山 田 義 夫	北 谷			
〃	長 浜 眞 勇	読 谷			
〃	銘 苅 良 光	浦 添			
〃	比 嘉 康 夫	名 護			
〃	上 間 克 美	浦 添			
〃	宮 城 勝 秀	宜野湾			
〃	山 城 正 俊	具志川			
会 長	糸 数 昌 治	コ ザ			
副 会 長	銘 苅 盛 隆	浦 添			
副 会 長	島 袋 功	名 護			
事務局長	古 屋 順 子	石 川			
書 記	仲 田 知 広	コ ザ			
会 計	比嘉いつみ	コ ザ			

理 事

支 部 名	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
那 覇	浜 川 智 昭			
浦 添	比 嘉 シ ゲ 子			
宜 野 湾	玉 城 巖			
コ ザ	金 城 光 信			
〃	島 袋 和 盛			
〃	宇 栄 原 宗 真			
〃	島 袋 勝 英			
〃	與 那 覇 徹			
北 谷	松 田 盛			
嘉 手 納	崎 濱 秀 光			
読 谷	漢 那 恵 秀			
具 志 川	仲 間 稔			
〃	上 江 洲 治			
石 川	比 嘉 紀 子			
名 護	吉 元 和 男			
〃	仲 宗 根 朝 儀			
本 部	上 間 巽			
今 帰 仁	与 那 嶺 直 樹			
伊 是 名	東 江 清 和			
伊 平 屋	仲 田 文 治			
関 東	宗 岡 高			
〃	沼 崎 裕 二			
関 西	金 城 茂			
九 州	原 口 忠			

理 事

支 部 名	氏 名	住 所	電話番号
ハ ワ イ	金城ノーマン		
北 米			
ペ ル ー	伊芸エクトル		
ブラジル	大城マリコ・ブルーナ		
アルゼンチン	與那嶺義勝		

監 事

支部名	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
コ ザ	久 場 良 昌			
具 志 川	兼 島 兼 良			
浦 添	新 垣 和 則			

支 部 役 員

那覇支部

支 部 長	浜 川 智 昭			
副 支 部 長	大 城 守 政			
事 務 局 長	渡 慶 次 亨			
書 記	長 堂 エ リ サ			
会 計	喜 納 や よ い			

浦添支部

支 部 長	比 嘉 シ ゲ 子			
副 支 部 長	伊 良 波 ゆ か り			
書 記	呉 屋 則 行			
会 計	米 良 実 紀 子			

宜野湾支部

支 部 長	玉 城 巖			
副 支 部 長	仲 村 智			
副 支 部 長	長 浜 勝 廣			
書 記	比 嘉 剛			
会 計	盛 吉 美 代 子			

北谷支部

支 部 長	松 田 盛			
副 支 部 長	宮 里 賢 三			
書記・会計	辻 村 智 美			

コザ支部

支 部 長	金 城 光 信			
副 支 部 長	與 那 覇 徹			
副 支 部 長	仲 尾 勝 成			
事 務 局 長	真 栄 城 健 二			
書 記	喜 友 名 昭 子			
会 計	米 須 智 子			

具志川支部

支 部 長	仲 間 稔			
副 支 部 長	諸 見 里 朝 弘			
事 務 局 長	上 江 洲 治			
書記・会計	浜 川 拓 也			

嘉手納支部

支 部 長	崎 濱 秀 光			
副 支 部 長	比 嘉 秀 季			
書記・会計	松 田 悟			

読谷支部

支 部 長	漢 那 惠 秀			
副 支 部 長	比 嘉 寛			
書 記	照 屋 早 月			
会 計	上 田 徹 也			

石川支部

支 部 長	比 嘉 紀 子			
副 支 部 長	知 念 政 智			
書記・会計	比 屋 根 良 直			

名護支部

支 部 長	仲 宗 根 朝 儀			
副 支 部 長	東 江 司			
事 務 局 長	長 山 儀 和			
会 計	儀 部 恵 子			

本部支部

支 部 長	上 間 巽			
副 支 部 長	与 那 嶺 吉 男			
書 記	大 城 拓 也			
会 計	大 城 謙			

今帰仁支部

支 部 長	與 那 嶺 直 樹			
副 支 部 長	大 城 純 子			
書記・会計	伊 佐 総 子			

伊是名支部

支 部 長	東 江 清 和			
書記・会計	佐 久 川 兼 友			

伊平屋支部

支 部 長	仲 田 文 治			
副 支 部 長	西 江 正 清			
書記・会計	諸 見 康 弘			

関東支部

支 部 長	沼 崎 裕 二			
副 支 部 長	下 地 健 士			
副 支 部 長	新 保 貴 子			
副 支 部 長	七 里 元 春			
事務局長	篠 田 里 美			
書 記	久 手 堅 玲 奈			
会 計	長谷川みさと			

関西支部

支 部 長	金 城 茂			
副 支 部 長	新 城 浩 文			
副 支 部 長	糸 数 美 華			
事務局長	藤 島 稔			
会 計	上 原 和 華 子			
書 記	木 下 裕 之			

九州支部

支 部 長	原 口 忠			
副 支 部 長	田 中 悟			
書記・会計	山 口 紗 輝			

ハワイ支部

支 部 長	金 城 ノ ー マ ン		
副 支 部 長	仲 兼 久 キ ー ス		
書 記	ドンナンミュリエル		
副 会 計	カーマイケルグレース		

北米支部

支 部 長			
書 記	タ ン ゴ ・ ト ニ ー		
会 計	呉 屋 ジ ェ ー ン		

ペルー支部

支 部 長	伊 芸 エ ク ト ル		
副 支 部 長	安富祖アレハンドロ		
事務局 長	照 屋 ヘ ラ ル ド		
書 記	知 念 デ ウ ィ		
会 計	仲 田 ル イ ス		

ブラジル支部

支 部 長	大城マリコ・ブルーナ			
副 支 部 長	知 念 直 義			
書 記	嘉 数 ヒ カ ル ド			
会 計	大 城 の り や す			

アルゼンチン支部

支 部 長	與 那 嶺 義 勝		
第 一 副 支 部 長	新 垣 正 吉 (ARAKAKI SEIKICHI)		
第 二 副 支 部 長	稲嶺フェルナンド		
幹 事	宮 城 ダ ニ エ ル		
第一副幹事	名 護 デ ィ エ ゴ		
第二副幹事	栄口アレハンドロ		
会 計	前外間レイナルド		
第一副会計	奥 間 オ マ ー ル		
第二副会計	佐久田アンドレス		

各 種 委 員 会

◎工工四監修委員会

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	澤 岷 安 松			
〃	島 袋 英 治			
〃	長 浜 眞 勇			
〃	宮 城 勝 秀			
幹 事	糸 数 昌 治			
〃	比 嘉 い つ み			

◎工工四編集校正委員会（上巻・中巻・下巻・続巻・特集）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	山 田 義 夫			
〃	銘 苅 良 光			
〃	松 田 盛			
〃	宮 城 勝 秀			
幹 事	古 屋 順 子			

◎工工四編集校正委員会（舞踊）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	銘 苅 良 光			
〃	山 田 義 夫			
〃	松 田 盛			
〃	宮 城 武 碩			
〃	宮 城 勝 秀			
〃	島 袋 功			
幹 事	銘 苅 盛 隆			

◎工工四編集校正委員会（組踊）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	照 屋 勝 義			
〃	島 袋 英 治			
〃	銘 苅 盛 隆			
〃	銘 苅 良 光			
〃	松 田 盛			
〃	上 間 克 美			
幹 事	島 袋 功			

◎工工四編集校正委員会（初級）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	宮 城 勝 秀			
〃	銘 荊 盛 隆			
〃	島 袋 功			
〃	宮 城 武 碩			
〃	比 嘉 康 夫			
〃	内 間 悦 子			
幹 事	仲 田 知 広			

◎資料収集編集委員会

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	糸 数 昌 治			
〃	銘 荊 盛 隆			
〃	島 袋 功			
〃	古 屋 順 子			
〃	仲 田 知 広			
〃	比 嘉 い つ み			

◎師範会指導者及び幹事

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	座 安 盛 善			
〃	山 田 義 夫			
〃	比 嘉 康 夫			
〃	上 間 克 美			
〃	銘 荊 盛 隆			
〃	徳 原 清 文			
〃	吉 元 博 昌			
〃	内 間 悦 子			
〃	島 袋 功			
〃	宮 城 勝 秀			
幹 事	眞 榮 田 徹 也			
〃	渡 慶 次 亨			

◎教師研修会指導者及び幹事

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	宮 城 勝 秀			
幹 事	小 波 本 直 和			
〃	宮 里 恵 子			

◎組踊地謡研修部指導者及び役員

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	島 袋 英 治			
〃	上 間 克 美			
〃	島 袋 功			
部 長	山 城 豊			
副 部 長	福 原 武			
書 記	中 野 夢			
会 計	仲 里 ひ ろ み			
会計補佐	山 城 綾 子			

◎舞踊地謡研修部指導者及び役員

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	銘 苅 盛 隆			
〃	宮 城 武 碩			
〃	崎 濱 秀 光			
〃	山 内 昌 也			
部 長	徳 田 泰 樹			
副 部 長	藤 山 浩 一			
書 記	藤 山 雪 貴 子			
会 計	小 谷 恵 里 子			
会計補	池 原 敦 子			

◎野村流合同協議会役員

役 職	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	糸 数 昌 治			
〃	銘 苅 盛 隆			
〃	島 袋 功			
〃	古 屋 順 子			
〃	仲 田 知 広			
〃	比 嘉 い つ み			

琉球古典音楽野村流音楽協会々則

第1章 総則

(名 称)

第1条 本会は琉球古典音楽野村流音楽協会と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は会長所在地に置く。

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦を図り、琉球古典音楽野村流音楽の普及高揚に努め、もって本会の発展に期することを目的とする。

(組 織)

第4条 本会は前条の趣旨に賛同する者で組織する。

2 本会は各地域及び海外に支部を置くことができる。

3 本会に入会しようとする者は本会の支部に入会し、支部長を経て会費を納入しなければならない。

第2章 事業

(事 業)

第5条 本会は第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 琉球古典音楽野村流音楽の研究
- (2) 師範会及び教師研修会の実施
- (3) 舞踊及び組踊の地謡並びに伴奏者の養成
- (4) 工工四の印刷及び発刊
- (5) 研究発表並びに合同演奏会の開催
- (6) 師範・教師の免許審査及び免許状の交付
- (7) 琉球古典音楽の文献の収集及び保存
- (8) その他必要な事業

第3章 役員及び事務局員

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長1名、副会長2名、理事若干名、監事3名、幹事、相談役若干名、顧問若干名
- (2) 本会の役員は名誉職とする。

(役員選出)

- 第7条** 会長、副会長、監事は、理事会において選出し、総会の承認を得るものとする。
- 2 理事は各支部より、会員 50 名に付き 1 名の割で選出し、 総会の承認を得るものとする。ただし、会員 50 名に満たない支部は支部長が理事となる。
 - 3 幹事は支部長をもって充てる。
 - 4 相談役は、会員で功労のあった者の中から理事会で選出し、総会の承認を得るものとする。
 - 5 顧問は、学識経験者から会長が理事会にはかつて推戴する。

(役員の任務)

- 第8条** 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、これを代理する。
 - 3 理事は、理事会を構成し、第 14 条の運営事項を審議する。
 - 4 監事は、会務並びに会計を監査し、理事会並びに総会に報告する。
 - 5 相談役は理事会に出席してその諮問に応じ、又は意見を述べることができる。

(事務局員)

- 第9条** 本会に事務局長を 1 名、書記若干名、会計 1 名を置き、 各々会長が推薦して理事会の承認を得るものとする。
- 2 事務局長は会長の指示を受け会務を処理し、議事録・会計簿・会員名簿・備品台帳・その他の簿冊を保管する。
 - 3 書記・会計は事務局長の指示を受け、各々の会務を処理する。

(役員の任期)

- 第10条** 役員の任期は、2 年とし、再選を妨げない。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

第4章 会 議

(会 議)

- 第11条** 本会の会議は総会と理事会及び幹事会とする。

(総 会)

- 第12条** 定期総会は年 1 回春に行う。ただし、会長又は理事会において必要であると認めるときは臨時総会を開催することができる。
- 2 総会は会長が招集し、議長となる。

(総会の承認事項)

第 13 条 事業及び予算に関する事項

- 2 会則及び規定の改廃
- 3 役員の選任
- 4 その他の事項

(理事会の決議事項)

第 14 条 理事会は会長が招集し、次の事項を審議する。議長は理事の中からそのつと選出する。

- (1) 各役員の選出
- (2) 事業並びに会務報告、決算の承認
- (3) 事業計画並びに会務、予算の審議決定
- (4) 会則及び規定の改廃の審議決定
- (5) 免許審査委員の選定
- (6) 支部の認定
- (7) 会運営のための費用弁償の審議決定
- (8) その他本会運営に必要な事項

(幹事会)

第 15 条 幹事会は会長が招集し、次の事項を審議する。

- (1) 理事会に付すべき事項
- (2) その他本会運営に必要な事項

(議 事)

第 16 条 議事は出席者の過半数以上で決議する。

第 5 章 免 許

(免 許)

第 17 条 本会の師範・教師の免許審査については別に定める免許審査規程による。

第 6 章 会員の権利義務

(権利義務)

第 18 条 本会の会員は第 3 条の目的に添って努力しなければならない。

- 2 第 20 条第 2 項により会員としての権利は一切制限されない。
- 3 本会の会則に違反し、本会の名誉を毀損した者は理事会の決議により除名することができる。
- 4 本会を脱退し又は除名された者は、本会に係わるすべての権利を失う。

第 7 章 会 計

(経 費)

第 19 条 本会の経費は会員の会費・寄付金・その他の収入による。

(会 費)

第 20 条 本会の会費は年 2,000 円、国外支部は 2 ドルとする。

ただし、14 歳以上 20 歳未満は 500 円とする。

- 2 本会に所属する満 80 歳以上の会員は 1,000 円とし、研究所長は 2,000 円とする。ただし、会費以外の負担義務を免除する。

(会計年度)

第 21 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 8 章 慶 弔

(慶 弔)

第 22 条 慶弔については別に定める。

第 9 章 委 任

(委 任)

第 23 条 本会運営上必要な規程、要綱等は別に定める。

附 則

- (1) 本会則は昭和 51 年 4 月 1 日施行する。
- (2) 本会則は昭和 58 年 5 月 15 日に一部改正し、当日施行する。
- (3) 本会則は昭和 59 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (4) 本会則は昭和 62 年 3 月 1 日に一部改正し、当日施行する。
- (5) 本会則は平成 8 年 4 月 1 日に一部改正し、当日施行する。
- (6) 本会則は平成 13 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (7) 本会則は平成 14 年 5 月 19 日に一部改正し、当日施行する。
- (8) 本会則は平成 15 年 5 月 18 日に一部改正し、当日施行する。
- (9) 本会則は平成 21 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

(注・本会則は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)

- (10) 本会則は平成 22 年 5 月 16 日に一部改正し、当日施行する。
- (11) 本会則は平成 27 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。
- (12) 本会則は令和 2 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

- (13) 本会則は令和 6 年 5 月 19 日に一部改正し、令和 6 年 4 月 1 日より施行する。

慶 弔 規 程

第 1 条 会則第 2 2 条については本規程に定める。

(慶 事)

第 2 条 本会各支部又は、他団体の総会、発表会等へ祝儀を贈る事ができる。

(弔 事)

第 3 条 会長、副会長及び同経験者については、会として新聞広告・供花をすることができる。

- 2 顧問、相談役、監事、理事、事務局員については、供花または香典をすることができる。また、その遺族の負担により会長名で新聞広告することができる。

附 則

- (1) この規程は、平成 15 年 5 月 18 日より施行する。
- (2) この規程は、平成 22 年 5 月 16 日に一部改正し、当日より施行する。
- (3) この規程は、令和元年 5 月 19 日に一部改正し、当日より施行する。

「琉球古典音楽 野村流音楽協会・師範会」並びに 「琉球古典音楽 野村流音楽協会・教師研修会」規程

(名称)

第1条 「琉球古典音楽 野村流音楽協会・師範会」並びに「琉球古典音楽 野村流音楽協会・教師研修会」と称する。

(目的)

第2条 会則第5条に基づき師範、教師の資質の向上を目的とする。

(組織及び運営)

第3条 師範会、教師研修会の組織及び運営について次のとおりとする。

1 師範会、教師研修会に次の役員をおく。

(1) 幹事、若干名

2 教師会の役員は、各支部輪番制とし、任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

3 第1項及び第2項の役員は、幹事会を構成し研修会の運営に当たる。

4 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

(事業)

第4条 第2項の目的を達成するために次の事業を行う。

(1) 師範会は、5月、8月、11月、2月に教師研修会は、4月、7月、10月、1月、に定例研修会を行う。

(2) その他必要な事業。

(師範、教師の義務)

第5条 師範、教師は積極的に師範会、教師研修会に参加しなければならない。

(協議)

第6条 その他研修活動に必要な事項については、その都度会長と協議する。

附則

(1) この規程は、平成22年5月16日より施行する

(2) この規程は、平成27年5月17日より施行する

(3) この規程は、令和7年5月18日より施行する

免 許 審 査 規 程

第 1 条 琉球古典音楽野村流音楽協会の師範、教師の免許審査は本規程による。

(免許審査)

第 2 条 本会の師範、教師になろうとする者は本会の免許審査委員会が行う審査を受けなければならない。

2 審査部門は歌・三線、笛、胡弓の各部門別とする。

3 課題曲は暗譜で演奏する。

(免許状)

第 3 条 本会の免許状は、前条の審査に合格した者に交付する。

(免許審査委員会)

第 4 条 本会に、師範免許審査委員会及び教師免許審査委員会をおく。

2 審査委員は沖縄県内各々 10 名、県外支部、国外支部各々若干名を理事会において選任し、審査委員会は選任された委員と会長でもって構成し、会長が委員長となる。

3 審査委員の任期は 1 年とする。

ただし、審査委員の年齢について教師審査委員は、満 70 歳まで、師範審査委員は、満 75 歳までとする。年齢の達する基準日は当該年度の 3 月 31 日とする。

(受験資格)

第 5 条 教師免許

本会にひき続き 5 年以上所属する満 20 歳以上の者で、教師又は師範並びに支部長が推薦した者。

2 師範免許

本会の教師免許を得てから 6 年（免許状交付時年度を含む）以上の会員で、師範並びに支部長が推薦する本会の教師であること。

3 受験資格の特例については、理事会の承認を得なければならない。

(審査免許の方法)

第 6 条 教師免許

(1) 教師免許は第 (2) 号の課題曲イ、ロの中からそれぞれ一節を、各支部長で構成する運営委員会を設置して決定した同節を独唱して、実技の審査を受ける。

(2) 課題曲

イ 作田節、ちゃんな節、首里節、しょどん節、暁節、茶屋節。

ロ 干瀬節、子持節、散山節、仲風節、述懷節

(3) 満70歳以上の者(本会で芸歴8年以上)については審査委員会の選考で実技審査を免除することができる。年齢の達する基準日は審査委員会の選考会議の日の属する月の末日とする。

2 師範免許

師範免許は、人物考査と実技審査とし、人物考査に選考された後、実技審査を受ける。

(1) 人物考査

人物考査は次の事項に該当する者で、審査委員会で選考する。

イ 人柄、識見、技量共に優れた者。

ロ 子弟の養成に尽力した者。

ハ 本会の運営発展に尽力した者。

(2) 実技審査

実技審査は第(3)号の課題曲を、3名以内で斉唱又は独唱して審査を受ける。

ただし、教師免許取得後8年を経過した満75歳以上の者については、審査委員会の選考で実技審査を免除することができる。年齢の達する基準日は、審査委員会の選考会議の日の属する月の末日とする。

(3) 課題曲

長ちゃんな節・仲節を隔年交互とする

3 笛、胡弓部門の課題曲は、教師は、作田節、師範は茶屋節とし、各々1名で演奏し審査を受ける。なお、いずれも歌・三線の伴奏は、実演又は録音テープのうちから選択することができる。ただし、実演の場合は2名以内とする。

4 受験番号の抽選は、実技審査約2週間前とする。

5 県外支部会員は、前第1項、第2項に準じ県外支部審査委員会において、審査を受けることができる。

6 国外支部会員は、前第1項、第2項に準じ国外支部審査委員会において、審査を受けることができる。

その際、実技審査に関して審査委員会は演奏をカセットテープに録音(伴奏なし)し、申請書、教師、師範並びに支部長の推薦書と録音テープを添えて会長に免許状交付の申請をする。実技免除者についても、同様(ただし録音テープは不要)とし、会長は免許審査規程に基づき免許状を交付する。

(選考基準)

第 7 条 実技審査の選考基準は調絃、拍子、音程、弾奏、声出し、声切り、姿勢、発想、発声、発音、節入りとし、調絃(音高)は自由とする。

(合格基準)

第 8 条 合格基準は審査委員会において定める。

(審査期日)

第 9 条 免許審査は毎年 1 回これを行う。審査期日は理事会で定め、2 箇月前に各支部に通達する。

(合格発表)

第 10 条 各審査委員会は審査終了後速やかに協議して合格者を決定し発表する。

(免許状交付)

第 11 条 免許状は総会において交付する。

(受験料並びに免許状交付料)

第 12 条 受験料及び免許状交付料は下記のとおりとする。

(1) 受験料は 10,000 円とする。ただし、国外は半額とする。

(2) 免許交付料は、教師 20,000 円、師範 30,000 円とする。

(委任) 第 13 条 本規程運用上必要な事項は別に定める。

附 則

- (1) この規程は昭和 51 年 4 月 1 日に実施する。
- (2) この規程は昭和 59 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (3) この規程は昭和 62 年 3 月 1 日に一部改正し、当日施行する。
- (4) この規程は平成 5 年 5 月 16 日に一部改正し、当日施行する。
- (5) この規程は平成 11 年 5 月 6 日に一部改正し、当日施行する。
- (6) この規程は平成 12 年 5 月 21 日に一部改正し、当日施行する。
- (7) この規程は平成 17 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (8) この規程は平成 17 年 9 月 10 日に一部改正し、当日施行する。
- (9) この規程は平成 21 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。
- (10) この規程は平成 23 年 5 月 15 日に一部改正し、当日施行する。

第 6 条第 2 項第 3 号の課題曲について、平成 23 年度は仲節とする。

(注：本規程は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)

- (11) この規程は平成 27 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。
- (12) この規程は平成 29 年 5 月 21 日に一部改正し、当日施行する。
- (13) この規程は、令和 2 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。
- (14) この規程は、令和 5 年 5 月 21 日に一部改正し、当日施行する。

琉球古典音楽 野村流音楽協会 組踊及び舞踊地謡研修部規程

1. 名 称

琉球古典音楽 野村流音楽協会 組踊及び舞踊地謡研修部と称する。

2. 目 的

会則第5条の規程に基づき、組踊及び舞踊地謡並びに伴奏者の育成強化をはかることを目的とする。

3. 組織及び運営

研修部の組織及び運営については次のとおりとする。

(1) 各研修部に次の役員をおく。

イ、部長	1名
ロ、副部長	1名
ハ、書記	1名
ニ、会計	1名
ホ、幹事	若干名

(2) 役員は部員の中から互選し任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

(3) 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

(4) 第(1)号の役員は、幹事会を構成し部の運営にあたる。

(5) 各部の部員数は三線40名、箏10名、その他器楽若干名を限度とする。

4. 部員の資格条件

部員の資格条件は次の通りとする。

(1) 入部資格は教師以上の資格を有し、舞踊研修部員は満55歳、組踊研修部員は満60歳までの者とする。ただし、年齢の達する基準日は、申請書を提出する年の4月1日とする。

(2) 音声良好にして歌唱力を有し、地謡活動に積極的で、かつ、謙虚なるもの。

(3) 支部長の推薦を経て本部幹事会で決める。

(4) 在部年数は両部共5年とする。

(5) 同時に両部の部員となることはできない。

5. 事 業

第2項の目的を達成するため次の事業を行う。

(1) 月例研修会を行う。

(2) 年1回の定期研修発表会を行うことができる。ただし、本会の事業日程に組入れ本会の事業として行う。

(3) 必要に応じ自主公演をすることができる。

6. 伴奏者

- (1) 伴奏者については、所属団体長の推薦を経て、会長の承認を得るものとする。
- (2) 箏伴奏者の在部年数を5年とし、入部年齢は原則として45歳までのものとする。ただし、年齢の達する基準日は、申請書を提出する年の4月1日とする。

7. その他研修活動に必要な事項については、そのつど会長と協議する。

8. 部員の義務

- (1) 部員は積極的に研修会に参加しなければならない。
- (2) 部員は、無断で連続3回以上欠席した場合及び年間出席率50%に達しないものは自動的に部員の資格を失う。

9. 修了者の義務

修了者は、研修部の必要に応じ協力しなければならない。

- (1) 修了者は、研修部において得た技能を支部の要求に応じ協力しなければならない。

附 則

- (1) この規程は昭和60年4月1日より実施する。
- (2) この規程は平成2年4月28日に一部改正し、当日施行する。
- (3) この規程は平成9年12月30日に一部改正し、当日施行する。
- (4) この規程は平成21年5月17日に一部改正し、当日施行する。
(注・本規程は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)
- (5) この規程は平成27年5月17日に一部改正し、当日施行する。

旅費に関する規程

(目 的)

第1条 本規程は会則第23条に基づき、会員が公務のため出張する場合の旅費支給に必要な事項を定めることを目的とする。

(旅費の支給)

第2条 本会の会員が公務出張するときには、旅費を支給する。

(支給する額)

第3条 前条の規定により旅費支給については、次の額を支給する。

- (1) 交通費一回……………1,000円(但し、県内に限る)
- (2) 航空賃、船賃等……………実費
- (3) 日 当……………3,000円(但し、宿泊を伴うもの)
- (4) 宿泊料……………10,000円(但し、県内は実費とする。)

(出張命令)

第4条 出張は、会長の委任で行なう。

- 2 委任権者の会長は、出張者への伝達手段として、文書、電話等によって行なうこととする。

(協 議)

第5条 その他旅費に必要な事項については、その都度会長と協議する。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日より施行する。

表彰に関する規程

(目 的)

第 1 条 本規程は会則第 2 3 条に基づき、表彰に関する必要な事項を定めることを目的とする。

(被表彰者)

第 2 条 被表彰者は、会員又は他団体等とする。

(表彰の基準)

第 3 条 被表彰者が以下の事項についてその活動が顕著なものとする。

- (1) 本部・支部の組織運営に功績があった者
- (2) 所属会員が 15 名以上で 5 年以上継続している研究所長
- (3) 教師・師範免許審査員の任期を満了した者
- (4) 人格円満にして人間性豊かな人格高潔な者
- (5) 本会の発展に協力、寄与した個人及び団体
- (6) その他

(賞状等の授与)

第 4 条 表彰は、表彰状、感謝状、功労賞等を贈呈し、記念品を添えることができる。

(表彰の時期)

第 5 条 表彰は、総会又は記念事業の開催をもって行う。

(表彰の手続き)

第 6 条 表彰の手続きについては、選考委員会を設置し、同委員会において被表彰者を決定し、理事会、相談役会に報告する。但し、第 3 条第 2 号及び第 3 号の規定については執行部で対応する。

(選考委員会)

第 7 条 選考委員会は、本会の正副会長及び幹事の中から若干名をもって組織し、会長が委員長となる。

附 則

- 1. この規程は、平成 26 年 5 月 18 日より施行する。
- 2. 第 3 条第 2 号については、平成 21 年度より起算する。

工工四監修・編集・校正等に関する要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、親しみ易く、正確な工工四の発行を目指し、監修・編集・校正に係る円滑な事務の推進を図り、古典音楽の普及と琉球古典音楽野村流音楽協会の発展に資することを趣旨とする。

(委員会の設置)

第2条 前条の趣旨を達成するため、次の各種委員会を設置する。

- (1) 工工四監修委員会
- (2) 工工四編集校正委員会

(定 義)

第3条 監修・編集並びに校正は、次のように定義する。

- (1) 監修とは、伊差川世瑞・世禮國男共著「聲樂譜附工工四」の歴史と、特徴を踏まえ、工工四のあり方を研究し、随時工工四の絃楽譜声楽譜並びに歌詞等の記述、編集等の監督をすることをいう。
- (2) 編集とは、特定の目的の下に、情報を収集し、整理、校正することをいう。
- (3) 校正とは、校正刷りと原稿を比べ合わせて、活字の組み誤り、不備等を正し、印刷に付すことをいう。

(委員長・副委員長の選任並びに幹事)

第4条 委員会の迅速な運営を図るため、それぞれ委員長、副委員長・幹事を置く。

- 2 委員長・副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 幹事は執行部事務局員から一人充てる。

(委員長・副委員長並びに幹事の役割)

第5条 委員長・副委員長並びに幹事の役割は、つぎのとおりとする。

- (1) 委員長は、委員会の意見を集約する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故あるときは、これを代理する。
- (3) 幹事は、委員会に必要な資料を整理し、提供し、協議事項を記録保存する。

(委員の委嘱)

第6条 委員の委嘱は、幹事会、理事会の承認のもと会長が委嘱する。

(委員の任期)

第7条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

(委任事項)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- (1) この要綱は、平成20年9月27日より施行する。
- (2) この要綱は、平成24年5月20日に一部改正し、同日施行する。

琉球古典音楽 野村流音楽協会「資料収集編集委員会」 設置要綱

（趣旨）

- 1、この要綱は、琉球古典音楽野村流音楽協会会則第5条第1項第(1)号及び第(7)号に基づき「資料収集編集委員会」（以下「委員会」という。）の組織、運営その他必要な事項を定める。

（設置）

- 2、資料等の収集・編集の円滑な推進のため「資料収集編集室」を会長所在地に設置する。

（任務）

- 3、委員会は、会長の諮問に応じてつぎの各号に掲げる事項を推進する。
 - (1) 資料等の収集・保存・活用に関すること。
 - (ア) 本会が発行する工工四及び会誌その他の発刊物並びに琉球音楽に関する文献・資料等の収集
 - (イ) 本会の活動に係る文書・写真・映像等の保存
 - (ウ) 「琉球古典音楽 野村流音楽協会アーカイブ」を設置し、会員並びに一般愛好者の活用を図る。
 - (2) 会誌『ちゃんな』の発刊に関すること。
 - (ア) 会誌『ちゃんな』編集の基本方針の設定
 - (イ) 会誌『ちゃんな』編集に関する資料収集及び執筆依頼
 - (3) その他、会則第5条第1項第(1)号及び第(7)号の推進に関すること。

（組織）

- 4、委員会は、10名以内で組織し会員のうちから理事会で選出し、会長が委嘱する。

（任期）

- 5、委員の任期は2年とする。ただし、再任することができる。
委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

（委員長及び副委員長）

- 6、委員会に委員長及び副委員長を置く。
 - (2) 委員長及び副委員長は委員の互選により定める。
 - (3) 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
 - (4) 副委員長は委員長を補佐し、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

（幹事）

- 7、委員会に幹事を置き、委員会に関する事務を担当する。
- 8、この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は会長が定める。

附則

- (1) この要綱は、野村流音楽協会会誌『ちゃんな』編集委員会(平22年5月16日施行)を発展的に改定し、平成24年5月20日に施行する。
- (2) この要綱は平成27年5月17日に一部改正し、当日施行する。

【令和6年度 組踊地謡研修部 修了者】

修了 番号	氏 名	支部名	部門	修了 番号	氏 名	支部名	部門
3 3 9	岸 本 永 馬	名 護	三 線	3 4 0	花 城 和 美	北 谷	三 線
3 4 1	木 下 裕 之	関 西	三 線	3 4 2	堀 浩	関 東	三 線
3 4 3	金 城 洋 子	具 志 川	箏	3 4 4	照 屋 千 栄 子	北 部	箏
3 4 5	親 川 桂 子	那 覇	箏	3 4 6	諸 見 田 か お り	那 覇	箏
3 4 7	岡 村 千 賀 子	石 川	箏	3 4 8	金 城 り ょ う 子	北 谷	笛
3 4 9	祖 堅 敦	幸 太 鼓	太 鼓	3 5 0	吉 田 三 津 子	幸 太 鼓	太 鼓

【令和6年度 舞踊地謡研修部 修了者】

修了 番号	氏 名	支部名	部門	修了 番号	氏 名	支部名	部門
4 1 6	太 田 順 子	那 覇	三 線	4 1 7	松 島 恵 美	コ ザ	三 線
4 1 8	大 湾 貴 登	読 谷	三 線	4 1 9	祖 堅 勇 作	具 志 川	三 線
4 2 0	又 吉 す え 子	具 志 川	三 線	4 2 1	長 山 儀 和	名 護	三 線
4 2 2	松 本 多 恵 子	関 東	三 線	4 2 3	福 島 和 子	那 覇	箏
4 2 4	亀 谷 洋 子	北 谷	箏	4 2 5	石 川 リ カ 子	具 志 川	箏
4 2 6	比 嘉 峯 子	幸 太 鼓	太 鼓	4 2 7	知 念 悦 子	乾 流・和の会	太 鼓
4 2 8	古 屋 順 子	石 川	胡 弓				



【令和6年度 師範免許合格者】

《三線の部》 課題曲：「長ちゃんな節」

免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名
1327	山口 紗輝	九州	1328	糸数 昌弘	コザ	1329	真栄田 司	浦添
1330	新垣 達也	北谷	1331	松川 慶介	名護	1332	岸本 永馬	名護
1333	中村 直美	コザ	1334	大城みゆき	コザ			

【胡弓・笛】 課題曲：「茶屋節」

《胡弓の部》

免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名
35	仲宗根 朝儀	名護	36	天願 喜美子	具志川	37	古屋 順子	石川

【令和6年度 教師免許合格者】

《三線の部》 課題曲：「暁節」「散山節」

免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名
3100	平嶋 弘信	九州	3101	久高まおり	石川	3102	石橋千代美	那覇
3103	仲村渠 幸代	那覇	3104	大嶺友里奈	名護	3105	高良久美子	宜野湾
3106	佐藤 啓喜	具志川	3107	安里 幸律	具志川	3108	伊佐 七海	具志川
3109	吉田 岳人	名護	3110	幸地 輝空	名護	3111	宮城小寿江	コザ
3112	寺田 淳子	コザ	3113	名護デ`イエコ`	アルゼンチン	3114	上間 恒昭	北谷
3115	宮城 豊子	コザ						

【胡弓・笛】 課題曲：「作田節」

《笛の部》

免許番号	氏名	支部名
53	山口 仁	石川

《胡弓の部》

免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名
86	伊佐 七海	具志川	87	伊波陽香留	読谷

令和6年度 第18回琉楽奨励賞 合格者

【会長賞】 30名

氏 名				学校名				指導者				支 部	
末吉	花球	美中	学	校	中島	美幸	那覇						
中島和	奏久	米島	西中	学	校	中島	美幸	那覇					
屋嘉比	康虎	瀬底	小学	校	内間	清彦	本名	部護					
伊豆見	琉生	大北	小学	校	松田	宏美	功名	護護					
照屋	亜美	名護	小学	校	島袋	功名	護護						
照屋	莉乃	名護	小学	校	島袋	功名	護護						
大城	栄舞	屋部	中学	校	新城	浩基	名名	護護					
宇榮原	穂和	東江	中学	校	岸本	順子	名名	護護					
上地	秋寧	読谷	中学	校	照屋	早月	読谷	谷谷					
徳田	佳音	読谷	中学	校	照屋	早月	読谷	谷谷					
山城	愛樹	読谷	小学	校	屋良	朝清	読谷	谷谷					
玉城	稜大	美東	小学	校	玉城	巖巖	宜野	湾湾					
玉城	結伍	沖縄	中学	校	玉城	巖巖	宜野	湾湾					
仲宗根	歩澄	宜野	中学	校	新城	康弘	宜野	湾湾					
濱崎	心愛	北中	小学	校	久場	良昌	コザ	ザザ					
永野	鈴心	室川	小学	校	久場	良昌	コザ	ザザ					
兼城	瑠莉	田場	小学	校	徳門	清春	具志	川川					
仲宗根	小姫	高江	中学	校	仲間	稔稔	具志	川川					
仲宗根	重拓	高江	中学	校	仲間	稔稔	具志	川川					
大城	芽依	瀬底	小学	校	大城	直人	本	部部					
上原	真花	瀬底	小学	校	大城	直人	本	部部					
大城	奏楽	瀬底	小学	校	大城	直人	本	部部					
大城	昇馬	瀬底	小学	校	大城	直人	本	部部					
左次田	来未	宮里	中学	校	伊禮	薫	具志	川川					
松田	来夢	中部	農林	高	校	古謝	義和	具志	川川				
大城	月乃	前原	高	校	古謝	義和	具志	川川					
島袋	愛麻	伊波	小学	校	糸数	くるみ	石	川川					
仲西	汐癒	宮森	小学	校	糸数	くるみ	石	川川					
儀保	裕珠	越来	中学	校	糸数	くるみ	石	川川					
比嘉	愛愛	具志	川高	校	真栄	喜清	次石	川川					

【金賞】 31名

氏 名				学校名				指導者				支部	
宇根美羽球	美沙理久米	中島西	中学	中島美幸那	霸								
上原沙理久米	島西	中学	中島美美幸那	霸									
中島和莉久米	島西	中学	中島美美幸那	霸									
仲本陽菜興南	中学	校渡慶次	亨那	霸									
伊豆味葵大北	小学	校松田宏美	名護										
呉屋結奈古堅	小学	校照屋早月	読谷										
呉屋茉里華古堅	中学	校照屋早月	読谷										
鉢嶺月映美里	中学	校照屋早月	読谷										
ジャマノ莉月サティア	古堅	中学	校屋良朝清	読谷									
島袋愛香諸見	小学	校内	間安亨	ザ									

氏 名					学校名					指導者				支 部		
比 嘉	ま り な	大 山	小 学 校	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	
大 西	佑 奈	宜 野 湾	小 学 校	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	
米 須	心 望	宜 野 湾	小 学 校	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	
又 吉	香 凜	宜 野 湾	小 学 校	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	
真 栄 平	玲 音	宜 野 湾	小 学 校	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	
池 原	慎 理	大 謝 名	小 学 校	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	新 城	康 弘	宜 野 湾	
川 畑	善 士 朗	安 慶 田	小 学 校	久 場	良 昌	コ	具 志 川	久 場	良 昌	コ	具 志 川	久 場	良 昌	コ	具 志 川	
福 原	悠 友	高 江 洲	小 学 校	山 城	艶 子	コ	具 志 川	山 城	艶 子	コ	具 志 川	山 城	艶 子	コ	具 志 川	
渡 慶	次 蒼	美 里	小 学 校	糸 数 昌 治 / 安 里 ト シ 子												
新 里	真 汰	兼 次	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
日 高	孝 太	今 帰 仁	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
濱 崎	柚 菜	本 部	中 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
大 城	雫	今 帰 仁	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
宮 城	莉 衣 奈	兼 次	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
玉 那	覇 海 湊	兼 次	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
島 袋	結 衣	兼 次	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
金 城	竜 琥	今 帰 仁	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
山 城	陽 愛	今 帰 仁	中 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
上 原	珠 斗	兼 次	小 学 校	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	与 那 嶺	直 樹	今 帰 仁	
桃 原	英 士	桑 江	中 学 校	伊 計	秀 子	北 谷	伊 計	秀 子	北 谷	伊 計	秀 子	北 谷	伊 計	秀 子	北 谷	
桃 原	一 樹	浜 川	小 学 校	伊 計	秀 子	北 谷	伊 計	秀 子	北 谷	伊 計	秀 子	北 谷	伊 計	秀 子	北 谷	
源 古	綾 花	あ げ な	小 学 校	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	
桑 鶴	歩	あ げ な	小 学 校	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	
荒 木	翠	あ げ な	小 学 校	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	
桑 鶴	志 歩	あ げ な	小 学 校	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	古 謝	義 和	具 志 川	
左 次 田	莉 子	城 前	小 学 校	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	
大 城	ひ な た	恩 納	小 学 校	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	
安 谷 屋	颯 大	山 内	小 学 校	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	
深 田	楽	嘉 芸	小 学 校	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	糸 数	く る み	石 川	
中 西	そ よ	北 中 城	小 学 校	下 地	彩 香	コ	下 地	彩 香	コ	下 地	彩 香	コ	下 地	彩 香	コ	
伊 波	由 彩	古 堅	中 学 校	屋 良	朝 清	読 谷	屋 良	朝 清	読 谷	屋 良	朝 清	読 谷	屋 良	朝 清	読 谷	

【銅 賞】 6 4 名

氏 名				学校名				指導者				支部	
宮	里	柚	菜	南	風	原	小 学 校	大	城	守	政	那	覇
宮	里	珠	和	南	風	原	小 学 校	大	城	守	政	那	覇
新	垣	雅	莉	南	風	原	小 学 校	大	城	守	政	那	覇
河	村	尚	勇	東	京	三 育	小 学 校	小	那 覇	安	睦	関	東
岩	本	愛	子	大	岳	小	学 校	中	島	美	幸	那	覇
仲	田	奏	音	瀬	底	小	学 校	内	間	清	彦	本	部
上	間	琉	花	瀬	底	小	学 校	内	間	清	彦	本	部
平	良	玲	於	奈	瀬	底	小 学 校	内	間	清	彦	本	部
伊	豆	味	颯	生	大	北	小 学 校	松	田	宏	美	名	護
加	堂	ま	あ	る	有	銘	小 学 校	玉	城	千	佳	名	護
石	川	希	衣	有	銘	小	学 校	玉	城	千	佳	名	護
島	袋	早	桜	名	護	小	学 校	吉	元 博 昌	・ 和	男	名	護
嘉	数	魁	斗	屋	部	中	学 校	新	城	浩	基	名	護
神	谷	怜	奈	沖	縄	尚	学 高 校	照	屋	早	月	読	谷

氏 名				学校名				指導者				支 部	
山城	佳子	喜名	小学	校	屋良	朝清	読	谷					
喜友	名優	佳読	谷小	学	校	屋良	朝清	読	谷				
与那	嶺季	樹古	堅中	学	校	屋良	朝清	読	谷				
富本	紗季	中の	町小	学	校	眞榮	田徹	也那	覇				
屋比	久梨	央奈	美里	小	学	校	内間	安亨	コ				ザ
新里	心那	中城	南小	学	校	内間	安亨	コ					ザ
三谷	莉希	愛美	里小	学	校	内間	安亨	コ					ザ
宮城	沙彩	菜沖	縄東	中	学	校	内間	安亨	コ				ザ
荷川	取	宙安	慶田	小	学	校	内間	安亨	コ				ザ
上地	彩	菜島	袋小	学	校	内間	安亨	コ					ザ
鍋倉	秀	樹諸	見小	学	校	内間	安亨	コ					ザ
奥間	政ノ	輔諸	見小	学	校	内間	安亨	コ					ザ
新城	倫子	中原	小	学	校	仲村	渠達	也	コ				ザ
外間	律輝	嘉数	小	学	校	玉城		巖	宜	野	湾		
仲村	昊粹	与勝	中	学	校	儀保	明美	具	志	川			
宮城	十	爽普	天間	小	学	校	新城	康弘	宜	野	湾		
上間	夢	生北	玉小	学	校	仲尾	勝成	コ					ザ
上間	琉	生北	玉小	学	校	仲尾	勝成	コ					ザ
又吉	結	愛宜	野湾	小	学	校	新城	康弘	宜	野	湾		
稲嶺	羽	琉宜	野湾	小	学	校	新城	康弘	宜	野	湾		
松田	百叶	大謝	名小	学	校	新城	康弘	宜	野	湾			
前里	美希	宜野	湾小	学	校	新城	康弘	宜	野	湾			
伊佐	唯華	大山	小	学	校	新城	康弘	宜	野	湾			
永野	鈴美	音室	川小	学	校	久場	良昌	コ					ザ
神田	拓	翔美	東小	学	校	久場	良昌	コ					ザ
伊是	名虹	南比	屋根	小	学	校	久場	良昌	コ				ザ
濱崎	彩心	北中	城小	学	校	久場	良昌	コ					ザ
座喜	味知	香	沖縄アミックスインターナショナルスクール				山城	艶子	具	志	川		
中真	莉人	中原	小	学	校	山城	艶子	具	志	川			
中真	由藍	中原	小	学	校	山城	艶子	具	志	川			
比嘉	みな	美赤	道小	学	校	山城	艶子	具	志	川			
大城	慶志	郎あ	げな	中	学	校	池宮	城克	成	具	志	川	
真部	湊	太今	帰仁	小	学	校	与那	嶺直	樹	今	帰	仁	
平良		康今	帰仁	小	学	校	与那	嶺直	樹	今	帰	仁	
平良	海	晴今	帰仁	小	学	校	与那	嶺直	樹	今	帰	仁	
喜屋	武和	紗本	部小	学	校	与那	嶺直	樹	今	帰	仁		
上間	一	凜今	帰仁	小	学	校	与那	嶺直	樹	今	帰	仁	
宮城	伶	生上	本部	学	園	与那	嶺直	樹	今	帰	仁		
宮城	心	桜上	本部	学	園	与那	嶺直	樹	今	帰	仁		
大城	羽琉	馬瀬	底小	学	校	大城	直人	本					部
石川	なつ	め伊	波小	学	校	系数	くるみ	石					川
比嘉	乙	葵伊	波小	学	校	系数	くるみ	石					川
有銘	奏	音城	前小	学	校	系数	くるみ	石					川
池原	杏	香恩	納小	学	校	系数	くるみ	石					川
山内	盛	翔山	内小	学	校	系数	くるみ	石					川
新垣	利	來山	内小	学	校	系数	くるみ	石					川
當山		蒼う	んな	中	学	校	系数	くるみ	石				川
ドミン	ゲス	瀬怜	菜く	ば	さ	高	校	系数	くるみ	石			川

氏 名	学校名	指導者	支 部
ドミンゲス梨愛菜	くばさき中学校	系数 くるみ	石 川
大 湾 宗 佑	北 中 城 小 学 校	真 栄 喜 清 次	石 川

【胡弓・会長賞】

伊 佐 夏 希	具 志 川 高 校	伊 禮 薫	具 志 川
伊 佐 渚 紗	前 原 高 校	伊 禮 薫	具 志 川
桑 鶴 美 海	具 志 川 商 業 高 校	古 謝 義 和	具 志 川

第58回琉球古典芸能コンクール受賞者

※（ ） 師匠名

◆最高賞【三線】 17名

浦添支部 波平宇宙（上原政市）

宜野湾支部 新里拓海（源河朝仁）

コザ支部 吉満楓立（名城一幸） 真壁洋太（山内昌也） 比嘉俊一（平良薫） 高橋鉄二（與那覇徹）

具志川支部 伊佐七海（伊禮薫）

読谷支部 伊波陽香留（照屋早月） 上地久幸（照屋早月） 比嘉秀樹（照屋早月）

名護支部 幸地輝空（石川きみ子） 吉田岳人（渡口裕）

関東支部 柳沢乙穂（宮森信次） 金子貴子（宮森信次） 片桐登喜夫（吉田久美）

関西支部 松明磨美（前田傳松） 角谷大輔（前田傳松）

◆最高賞【胡弓】 2名

具志川支部 柳沢乙穂（伊禮薫）

石川支部 橋本菜穂子（照屋勝武）

◆優秀賞【三線】 27名

宜野湾支部 高良久美子（宮城勝秀） 宮城洸成（源河朝仁） 中谷拓実（源河朝仁）

末吉元気（源河朝仁） 長浜実（玉城巖）

コザ支部 大城柚月（糸数昌治） 宮良美紅（内間安勇） 神田結菜（久場良昌） 高松大智（山内昌也）

鈴木茜（與那覇徹） 江上千沙（與那覇徹） 箕輪美奈子（與那覇徹） 上江洲静香（與那覇徹）

濱野智彦（仲村誠之助）

具志川支部 兼城愛佳（徳門清春） 佐藤啓喜（徳原清文）

石川支部 久高まおり（渡慶次淳）

読谷支部 知花栄汰（眞榮田徹也） 新城あかり（照屋早月） 知念美佐紀（照屋早月） 石川未侑（照屋早月）

兼謝名希実（屋良朝清）

名護支部 石川友菜（吉元博昌）比嘉一朴（吉元博昌）上地豊蔵（石川きみ子）岸本かのん（當山光行）

関東支部 大沼謙介（七里元晴）

◆優秀賞【笛】2名

那覇支部 吉岡久範（真地利尚）

名護支部 山城理江（中野夢）

◆新人賞【三線】41名

那覇支部 末吉花（中島美幸）中島和奏（中島美幸）仲村渠則由（與那嶺靖）永井薫（與那嶺靖）
名村由美子（宮城武碩）

浦添支部 呉屋則行（銘苺良光）仲本英宏（上間克美）

コザ支部 玉城和彦（金城光信）玉城陽匡（金城光信）屋宜唱子（糸数昌治）目取真優（仲尾勝成）
山田紀枝（内間安勇）山内0 緋茉莉（山内昌也）島袋美癒音（内間安勇）永野鈴維寧（久場良昌）
田原泰斗（山内昌也）渡嘉敷剛（小嶺克仁）鍋倉貴司（内間安勇）比嘉雄斗（仲尾勝成）
柴佑（山内昌也）當山全聡（小嶺克仁）福元信吾（喜友名昭子）鈴木一行（喜友名昭子）
山田健太（喜友名昭子）橋本裕紀（仲村誠之助）

石川支部 永山盛彦（照屋勝武）江藤知蓉（照屋勝武）

読谷支部 山城希織（屋良朝清）松原初美（屋良朝清）兼謝名百花（屋良朝清）

名護支部 松川晃士（松川慶介）大城栄舞（新城浩基）

今帰仁支部 赤嶺沢（与那嶺直樹）赤嶺幸代（与那嶺直樹）古屋久美子（与那嶺直樹）

本部支部 屋嘉比佐和（内間清彦）

関西支部 権田千鶴（新城浩文）藤森貴（新城浩文）山本美佐（仲村英芳）

九州支部 亀山真生子（原口忠）

◆新人賞【笛】5名

具志川支部 山口仁（知名禮子）

名護支部 屋比久眞弓（中野夢）西尾真（中野夢）

関東支部 赤羽恵子（久保田清美）水津昭子（久保田清美）

第9回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」

令和6年12月28日(日)琉球新報ホール

「独唱」

氏 名				学校名	指導者	支 部	表 彰
大	城	栄	舞	屋 部 中 学 校	新 城 浩 基	名 護	若衆優秀賞
大	城	昇	馬	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部	若衆優秀賞
濱	崎	心	優	北 中 城 中 学 校	久 場 良 昌	コ ザ	琉球新報賞
徳	田	佳	音	読 谷 中 学 校	照 屋 早 月	読 谷	
大	城	愛	琉	本 部 中 学 校	大 城 直 人	本 部	
宇	根	美	羽	球 美 中 学 校	中 島 美 幸	那 覇	
中	島	和	莉	久 米 島 西 中 学 校	中 島 美 幸	那 覇	
鉢	嶺	月	映	美 里 中 学 校	照 屋 早 月	読 谷	
内	間	雪	帆	伊 波 小 学 校	糸 数 くるみ	石 川	若衆優秀賞
又	吉		奏	高 江 州 中 学 校	又 吉 章 盛	具 志 川	
大	城	奏	楽	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部	
兼	城	瑠 莉	亜	田 場 小 学 校	徳 門 清 春	具 志 川	
上	地	秋	寧	読 谷 中 学 校	照 屋 早 月	読 谷	
儀	保	裕 珠	菜	越 来 中 学 校	糸 数 くるみ	石 川	

地謡「秋の踊り」

呉	屋	茉 里 華	古 堅 中 学 校	照 屋 早 月	読 谷
喜	久 山	愛 璃	中 城 南 小 学 校	源 河 朝 仁	宜 野 湾
照	屋	莉 乃	名 護 小 学 校	島 袋 功	名 護
ジャマノ	莉 月	サティ	ア 古 堅 中 学 校	屋 良 朝 清	読 谷

地謡「上り口説」

前	泊	英 尚	本 部 中 学 校	大 城 直 人	本 部
前	泊	英 昇	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部
玉	城	結 伍	沖 縄 東 中 学 校	玉 城 巖	宜 野 湾
玉	城	稜 大	美 東 小 学 校	玉 城 巖	宜 野 湾

斉唱(かぎやで風節・恩納節・かたみ節)

喜	久 山	愛 璃	中 城 南 小 学 校	源 河 朝 仁	宜 野 湾	団体:若衆優秀賞
照	屋	莉 乃	名 護 小 学 校	島 袋 功	名 護	
呉	屋	結 奈	古 堅 小 学 校	照 屋 早 月	読 谷	
ジャマノ	莉 月	サティ	ア 古 堅 中 学 校	屋 良 朝 清	読 谷	
前	泊	英 尚	本 部 中 学 校	大 城 直 人	本 部	
前	泊	英 昇	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部	

氏 名				学校名	指導者	支 部	表 彰
玉	城	結	伍	沖 縄 東 中 学 校	玉 城 巖	宜 野 湾	団体：若衆優秀賞
玉	城	稜	大	美 東 小 学 校	玉 城 巖	宜 野 湾	
大	城	栄	舞	屋 部 中 学 校	新 城 浩 基	名 護	
大	城	昇	馬	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部	
濱	崎	心	優	北 中 城 中 学 校	久 場 良 昌	コ ザ	
徳	田	佳	音	読 谷 中 学 校	照 屋 早 月	読 谷	
大	城	愛	琉	本 部 中 学 校	大 城 直 人	本 部	
宇	根	美	羽	球 美 中 学 校	中 島 美 幸	那 覇	
中	島	和	莉	久 米 島 西 中 学 校	中 島 美 幸	那 覇	
鉢	嶺	月	映	美 里 中 学 校	照 屋 早 月	読 谷	
内	間	雪	帆	伊 波 小 学 校	糸 数 くるみ	石 川	
又	吉		奏	高 江 州 中 学 校	又 吉 章 盛	具 志 川	
大	城	奏	楽	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部	
兼	城	瑠 莉	亜	田 場 小 学 校	徳 門 清 春	具 志 川	
上	地	秋	寧	読 谷 中 学 校	照 屋 早 月	読 谷	
儀	保	裕 珠	菜	越 来 中 学 校	糸 数 くるみ	石 川	
喜	久 山	愛 璃		中 城 南 小 学 校	源 河 朝 仁	宜 野 湾	

舞踊・太鼓 賛助出演

舞 踊（ 秋 の 踊 り ）	宮良美紅、高江洲杏樹（玉城琉綾美会 内間勝美琉舞道場）
舞 踊（ 上 り 口 説 ）	島袋桃香、金城もえ（玉城琉綾美会 内間勝美琉舞道場）
太 鼓	池原心愛、池原心希（乾流太鼓和の会 知念悦子研究所）

琉球古典音楽 野村流音楽協会 歴代会長一覧

歴代	会長名	在 任 期 間	西 暦	年
初代	伊 差 川 世 瑞	大正 13 年 10 月 31 日 ～昭和 12 年 3 月 2 日	1924～1937	13
2 代	伊 差 川 開 栄	昭和 12 年 5 月 1 日 ～昭和 15 年 7 月 日	1397～1940	3
戦時中～戦後		昭和 15 年 7 月 日 ～昭和 24 年 6 月 日	1940～1949	9
3 代	与 那 覇 政 牛	昭和 24 年 7 月 1 日 ～昭和 27 年 4 月 30 日	1949～1952	3
4 代	友 寄 隆 賀	昭和 27 年 5 月 1 日 ～昭和 27 年 9 月 14 日	1952～1954	2
5 代	池 宮 喜 輝	昭和 27 年 9 月 15 日 ～昭和 38 年 5 月 31 日	1954～1963	9
6 代	幸 地 亀 千 代	昭和 38 年 6 月 1 日 ～昭和 44 年 9 月 24 日	1963～1969	6
7 代	西 島 宗 二 郎	昭和 45 年 4 月 1 日 ～昭和 47 年 3 月 31 日	1970～1972	2
8 代	仲 田 清	昭和 47 年 4 月 1 日 ～昭和 48 年 12 月 29 日	1972～1973	1
9 代	島 袋 正 雄	昭和 49 年 4 月 1 日 ～昭和 59 年 5 月 30 日	1974～1984	10
10 代	玉 城 宗 吉	昭和 59 年 6 月 1 日 ～平成 2 年 5 月 30 日	1984～1990	6
11 代	松 田 健 八	平成 2 年 6 月 1 日 ～平成 8 年 3 月 31 日	1990～1996	6
12 代	伊 良 波 幸 善	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成 14 年 3 月 31 日	1996～2002	6
13 代	喜 友 名 朝 宏	平成 14 年 4 月 1 日 ～平成 20 年 3 月 31 日	2002～2008	6
14 代	照 屋 勝 義	平成 20 年 4 月 1 日 ～平成 24 年 3 月 31 日	2008～2012	4
15 代	神 田 米 三	平成 24 年 4 月 1 日 ～平成 28 年 3 月 31 日	2012～2016	4
16 代	長 浜 眞 勇	平成 28 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日	2016～2020	4
17 代	宮 城 勝 秀	令和 2 年 4 月 1 日 ～令和 6 年 3 月 31 日	2020～2024	4
18 代	糸 数 昌 治	令和 6 年 4 月 1 日 ～	2024～	

入 部 申 請 書

令和 年 月 日

琉球古典音楽野村流音楽協会
会 長 糸数 昌治 殿

組 踊 ・ 舞 踊 地謡研修部への入部を申請いたします。

部 門	三 線 ・ 笛 ・ 胡 弓 ・ 箏 ・ 太 鼓		
資 格	免 許 番 号	取 得 年 月 日	
教 師・師 範		昭和・平成・令和 年 月 日	
ふ り が な			
氏 名	印		
生 年 月 日	昭 和 ・ 平 成	年	月 日
郵 便 番 号	—		
住 所			
携帯電話番号			

上記の会員の入部について推薦いたします。

支部

師 匠 印

琉球古典音楽野村流音楽協会 支部長 印

琉球箏曲興陽会 ・ 幸太鼓の会 ・ ()の会

会 長 印

